

# 統計行事

## 市町村

〔六月〕

綿織物産額調(特定町村)

三日限報告

絹織物及絹織交織物産額調(同)

五日限報告

人口動態調査票

十五日限報告

桑苗

十五日限報告

春蠶豫想收購高

二十日限報告

〔七月〕

綿織物産額調(特定町村)

三日限報告

絹織物及絹織交織物産額調(同)

五日限報告

人口動態調査票

五日限報告

物價(特定町村)

五日限報告

賃金(同)

五日限報告

麥

十五日限報告

果樹苗

同

茶畑

同

濃粉

同

鷲

同

鶏

同

春蠶

同

桑畑

同

縁肥用作物

末日限報告

## 統計調査員

〔六月〕

農産物春季調査の集計報告

十日限報告

春蠶豫想收購高

十七日限報告

春蠶票提出

二十日限報告

家食調査準備並實施

三十日迄

〔七月〕

家食調査票提出

五日限

夏季作付及反別調査準備並實施

七月一日より

## 初夏の調べ

# 茨城統計(五月號目次)

◇表紙……那珂湊の海門橋

◇口繪……春季調査の實地指導を受ける水戸市調査員：筑波郡の支部總會…

新治郡の學事年報査閲：田水山、朝日、磯原各町村統計調査員視

察：統計協會表彰：石神村統計調査員

卷頭言……………農林省統計官 長畑健 一…【一】

耕地統計論……………農林省統計官 長畑健 二…【二】

統計不振町村を招集……………農林省統計官 長畑健 三…【三】

統計座談會……………新治郡藤澤村へ……………【九】

模範訪問……………結城郡豊岡村へ……………【五】

寄贈圖書……………【四・九】

實務統計調査の栞……………【一〇】

道場統計調査の栞……………【一〇】

最終の近計  
豚や牛は漸次増す……………【五】  
一千七百余萬圓の稼ぎ……………【七】

統計座談會……………【元】

統計主任者異動……………【七】

各地統計雜信……………【八】

擔任郡の變更……………【四】

視察記  
富里村視察の記……………久慈郡中里村 生田目春吉…【四】  
統計調査員異動……………【四】  
中部日本府縣統計課長會議……………【四】  
統計優良村視察記……………磯原町 鈴木俊雄…【四】

苑文  
短歌……………丹 四郎 選…【五〇】  
俳句……………前田 猶春 選…【五一】  
川柳……………山中 緋郎 選…【五一】  
編輯後記……………【五】



茨城統計五號

卷頭言

X  
衆議院議員の總選舉も終つた。正に突風の吹き止んだ形だ。縣下各町村の議員選舉も大体本年中に執  
行される。今年は選舉の當り年とでもいはうか。

X  
それにしても肅正選舉の趣旨が徹底した事は御同慶に堪へない。弊風の一掃は今一息といふところ。  
X  
春季調査が終るかと思ふと直ぐ夏季調査だ。統計茨城茲にありと其の成績を天下に示してやりたいも  
のだ。

X  
奉公の精神と不斷の努力とは統計調査員のモットー。確實と正鵠は其の成果である。

X  
新緑初夏のすがすがしい姿こそ統計調査員の活躍振りを表象するものではある。

# 耕地統計論【4】



官計統畑長

農林省統計官 長畑健二

## 第六節 耕地統計に於ける單位の觀察方法

耕地大量の單位を決定し、大量の存在の時と場所とを決定すれば、次には此の大量を如何にして最も經濟的に把握するかの方法を考へねばならぬ。換言せば耕地大量の單位を悉皆洩すことなく數へ上げると共に、其の標識を誤りなく把握することが肝要である。

而して觀察の方法を具體的に述べることは、調査すべき耕地大量の意義、範圍が具體的に規定されなければ抽象的に述べることは出來ぬ。

而して耕地の統計調査に於て土地臺帳に依る第二義調査が常に問題となるから、土地臺帳に據る第二義統計調査に依つて我々は如何なる耕地統計を作成し得るかを一應研究し、次いで第一義調査に於て從來如何なる方法が採られたかを研究することとする。

土地臺帳に依る耕地統計に就て

土地臺帳は地租法 昭和六年以前迄は地租條令の定むる所により稅務署に之を備へ、左の事項を登錄する帳簿で

ある。尙之の副本は市町村役場に之を備へ付けることとなつてゐる。

- 一、土地ノ所在
- 二、地 番
- 三、地 目
- 四、地 積
- 五、賃賃價格
- 六、所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
- 七、質權又ハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ目的タル土地ニ付テハ其ノ質權者又ハ地上權者ノ住所及氏名又ハ名稱

而して元來土地臺帳は地租賦課の爲の基礎簿であつて、我國に於ける土地臺帳は明治七年乃至十四年の八ヶ年に亘つて經費三千七百萬圓を投じて之を作成したものであつて、土地に關する唯一の全國的基礎資料をなしてゐる譯である。但し土地臺帳には國有地、御料地の記載がないから、之れ等は別途の資料に依らねばならぬ。

而して土地臺帳に記載せられたる土地に付て異動のあつた際には、土地所有者の申告に依つて之を訂正する規定になつて居るのであるから、土地臺帳の作成は明治の初めであるとしても、土地臺帳に記載せられて居る事項は常に最新のものであるべき筈である。然るに實際に於ては、この申告は往々にして忘れられ勝ちである爲に、土地臺帳の記載と實地とが一致しない場合が生ずる。

又土地臺帳の作成は明治の初めであつて、我國内の一般文化の程度も低く、従つて土地測量にも缺點が多かつた事と思ふ。或は又地租額の輕少ならんことを希つて、故意に其の事實を枉げたる場合などもあつて、當初から臺帳面の記載に誤が多いものもある譯である。右の如き理由に基き、土地臺帳の記載と事實とは必ずしも一致しない事

があり得るのである。之等の點を度外視すれば、土地臺帳に依つて田畑に關する或る種類の統計を作成することが出来る。

土地臺帳に依つて作成し得べき耕地統計

(一) 靜態統計

有租地中田の面積、賃貸價格、地租、筆數

有租地中畑の面積、賃貸價格、地租、筆數

大藏省に於ては毎年一月一日現在を以て各稅務署をして之を調査報告せしめたるものを主稅局統計年報告書に掲載して居る。

而して右の田畑面積と農林省統計に於ける田畑面積とを比較するに、

有租地	田面積	畑面積	計
(昭和九年一月一日)	二、九九六、六二八 <sup>町</sup>	二、八六六、九一四 <sup>町</sup>	五、八六三、五四二 <sup>町</sup>
農林省統計	三、二二五、六二八	二、八〇三、一三六	六、〇二八、七六四
(昭和八年十二月三十一日)	二、二九、〇〇〇	六三七、七七八	一六五、二二二
兩者ノ差			
有租地	田面積	畑面積	計
(昭和二年一月一日)	二、九七一、二二四 <sup>町</sup>	二、七八四、四八二 <sup>町</sup>	五、七五五、六〇六 <sup>町</sup>

田に於ては農林省統計は有租地表よりも二十二萬九千町歩(七分六厘)多く、畑に於ては六萬三千七百七十八町歩(二分二厘)少なくなつて居る。結局總耕地面積に於て十六萬五千二百二十二町歩だけ有租地表の方が少ないことになる。有租地表の耕地面積が農林省統計の耕地面積より尠いのは最近のみの事實ではなく、農林省統計に於て始めて耕地面積を調査した時からの事である。昭和二年一月一日の兩者の比較によく表れてゐる。

農林省統計 (昭和元年十二月三十一日) 三、二二九、七六七  
兩者ノ差 一五八、六四三  
兎に角土地臺帳は元來が地租賦課の爲の帳簿であり、其の内容の變更が届出主義に依つてゐるのであるから、之に依つて信頼し得る耕地統計を作成することは望まれない。従つて信頼し得る耕地統計は、第一義統計に依らねばならぬのである。

我國に於て眞に正確にして信頼し得る耕地統計調査の行はれたのは、昭和四年九月一日現在を以て行はれた耕地調査である。耕地調査の實情に就ては後に述べることにする。而して實地調査の方法を大別して二通りとすることが出来る。

第一は對地調査方法であり、第二は對人調査方法である。

對地調査方法

耕地の對地調査方法は昭和四年の耕地調査が之を實際に採用したのである。此の方法の特徴とする所は、耕地に就て調査員が自ら之を觀察して必要事項を調査票に記入する方法である。此の方法に於ても各筆の面積を調査員が實地に測量することなどは到底出来るものではない。そこで基礎はやはり土地臺帳に依つて豫め其の面積を調査して置く必要がある。實地調査は面積に關する限り、單に土地臺帳面の記載と自己の目測に依る觀察との間に甚だしい相違がないか否かを確める程度に過ぎぬ。目測又は步測の程度で判明する土地臺帳面の誤は相當大きな誤であつて、僅少な誤は目測、步測などで到底發見出来るものでなく、正式の測量を行つて始めて發見し得るに過ぎぬ。斯る測量を今更總ての耕地に就て行ふことは困難である。各筆の耕地の面積を正確にすることは測量の問題であつて統計の直接の目的でない。統計調査の問題としては、觀念上は各筆の面積自体は別に問題にせず、場合によつては既に正確に判明して居るものとして取扱はねばならぬことも止むを得ない。併し現實の問題として、其の各筆の面

積自體が正確に判明してぬぬものとすれば、可及的之を正確ならしむる方法を講じなければならぬ譯であつて、統計調査として行ひ得る程度の手段を講ずることは必要な事である。昭和四年の農業調査に於ては面積の調査に關しては、調査員は準備調査として土地臺帳若くは之に代るべき公簿によつて、耕地各筆の地目、段別を耕地票に記入し置き、更に實地調査に於ては面積を步測によつて一應算定することを原則とし、步測に依つて算定し難きものについては間繩、測鏈等によつて、簡易なる丈量を爲して其の面積を決定することとしたのである。この程度の實地調査によつて、面積を正確ならしめ得る程度には自ら限度がある譯であるから、耕地統計に於て面積の正否は、一に各筆の面積がどの程度まで正確に判明してゐるかに懸るものである。耕地各筆の種類、自作別等には統計調査に於ける單位觀察によつて直ちに判明する事項であるが、面積のみは測量といふ特殊の技術を要する行爲に依らねばならぬのであるから、觀察のみでは判明せぬ。

對地調査に於て各耕地を實地觀察するに際して、一筆の地と雖も之を残すことなき様する爲と、土地臺帳に於ける各筆を實地耕地と照合するの手段としては、この中間に耕地の地圖を必要とする。耕地各筆の面積に就ては大部分土地臺帳面積を借用するものとすれば、臺帳上の地番を照合するには實地耕地には地番を表示してないから、地圖によつて各地番の位置を確めるより方法はない。この爲に對地調査に據れる農業調査に於ては、調査員に市町村備付けの字限繪圖其他適當なる地圖に基いて複寫又は略圖を作製することを命じたのである。耕地圖の使命は土地臺帳と實地とを連絡することに在る。従つて始めから土地臺帳を全然離れて實地の調査のみを以て行ふと云ふのであれば、耕地圖などを豫め作つて置くことは無意味である。この際には實地の耕地と調査票とを連絡する意味に於て、耕地に立札をしてそれに調査票の番號と同一番號を表示して置くこととするか、或は實地調査の結果による地圖を作成して地圖上に於て調査票と實地との連絡を圖ることを考へねばならぬ。

#### 對人調査方法

調査の單位は耕地であつても、耕地は結局之を所有する者であり、又之を耕作する者が存在する。耕地が社會大量にして自然科学的事象と異なる所以である。其の存在が社會に制約せられ、社會によつて規定せられるが故に、耕地は之を統計として取扱ひ得るのである。そこで耕地の統計を作成するに就ての實地の單位觀察は、常に必ずしも所謂調査員に委する必要はない。對地主義の調査方法に於ては、調査員は直接土地に就て自ら單位觀察をなす事を本旨とするものであるが、對人調査に於ては調査員は直接單位たる耕地に就くことなく、耕地と密接なる關係ある者——多くは直接の經濟的支配關係を有する者、即ち所有者又は經營者——を通して之を調査することとなる。耕地の所有者或は經營者に單位の觀察を行はしめ、之に調査票作成の義務を課するのである。この方法に於ては所有者又は經營者が觀察者となる結果、單位の實地觀察者が調査員の場合より非常に増加する結果、其の觀察は對地調査に於て調査員が直接耕地に就く場合よりも綿密に觀察が行ひ得る可能性が一面に於て増加すると共に、又耕地に對する利害關係も調査員よりも密接なる者である關係上、其の調査事項の内容を知悉する程度が大なるものと謂はねばならぬ。従つて此の調査方法の下に於ては、調査員は其の耕地所有者なり經營者なりを、洩れなく探出すことに意を注げばよい譯であるから、調査員としては對地調査よりも却つて樂な場合が多い。併し耕地所有者なり耕地經營者なりが、其の自己の耕地に就て調査すべき事項の内容を正確に知らない場合に於ては勿論のこと、假令之を正確に知つてゐるにしても、課税を恐れる心理から、又は其の他の心理から、其の眞實を告げることのない場合に於ては、此の調査方法では信頼すべき結果を得ることは困難である。

更に耕地を對人調査に依る場合の技術上の困難な點は、其の申告者を耕地所有者にするとして、其の所有者と其の所有耕地との存在場所が一致して居らぬ場合の往々存することである。

某町村の耕地を所有する者が常に必ずしも其の町村に住居しない事があり、又其の所有耕地は各地に散在する場合も多いことである。屬地主義に依つて、地區内に存在する耕地を調査するの建前に於ては、對人調査即地主に就

て調査する方法は前述の點で却つて不便を感じる。此の點は地主に就かず耕地の經營者に就て調査するに於ても、其の程度には幾分の相違はあるにしても同一腦みがある。

經營者の場合に於ては所有者の場合と異り、其の經營地との距離には大體限度が存在する。往復に一日以上を費す距離などは考へられない。此の點に於て町村を區域として考へれば、其の交錯の程度は大部分隣接町村位のものであらう。

従つて對人調査に依つたものから屬地主義の結果を得る爲には、調査票を調査員間に於て相互に交換する必要を生ずる。

甲村の居住者Aが、乙村の土地Lを耕作する場合に於ては、甲村に於てAに依つて申告されたL耕地の分は之を乙村に送付することによつて、乙村に於ては始めて乙村の耕地を洩れなく調査した事となる。

### 統計事務不振の

## 五十七ヶ町村を招集

### 縣で特別指導を試む

昭和十一年度統計事務監査の結果に鑑み、其の事務の内容並調査員の活動不振なりしものある町

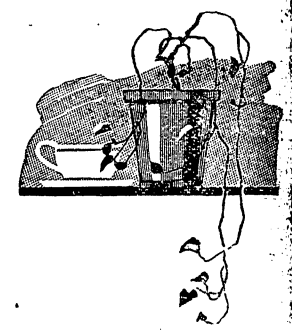
村に對しては縣は本年も特別指導を行ふこととし、四月初旬より二十九ヶ所に最寄五十七ヶ町村を招集することとなり、既に十八ヶ所四十ヶ町村の指導を行つた。残りの十一ヶ所十七ヶ町村は衆議院の總選舉に依り五月に延期されたが之も五月六日より十日迄に行はれた。

### 統計模範町村視察記 (十四)

## 小栗調査の完成に

### 補助簿を持つて現地へ

主任、調査員、區民の名トリオ



雲ふかくかくれし影は今もなほ

さやかに残る藤澤の水

建武中興の昔藤原藤房卿が藤澤城に隠れて勤王の士を糾合した事蹟は、今も尙ほ新治郡藤澤村に残る藤房卿の遺髪塚や同村神宮寺にある藤房卿の眞筆によつて我々の血を湧かすに充分である。そして藤澤村にある來栖姓は志賀重昂氏の説によれば京畿にあつた土蜘蛛の一族で藤房卿の從者として此地に來た來栖主計の遺族であるとされてゐる。

この史蹟に富む新治郡藤澤村は今統計の模範町村になつてゐる。記者は四月十日こゝを視察する爲に土浦驛から北條行のバスに乗つた。眞鍋臺から畑の中を幾うねり、雨あがりの麥畑は一きは生氣に満ち、窓に迫る筑波は霞が、つてゐる。

小さな坂を登りつめると左側にモダンな二階建がある、玄關前には何本かの棕櫚まで植ゑられて田舎には珍らしい構えである、自動車が行くと車掌嬢は

「藤澤村役場前で御座います」

と記者に聲をかける。土浦町から約二里とは聞いたが兎に角藤澤城趾と藤房卿の遺跡とを除けば之ぞといつて取りたて、名も知られない藤澤村役場としては餘りにもハイカラな構造なのに一寸面喰つた。事務室もすつかり椅子テーブルで都會地に出しても遜色のないものである。受付に刺を通すれば産業統計主任の來栖吉一氏が早速現はれて

先日は失禮を致しました、さアどうぞ。

と案内をする。新築間もない役場には新しい木の香さへた



する來栖書記は十七年といふ長い間事務の刷新と調査員の訓練指導にたづさはつて居りその外に雇田中元義氏がある、統計調査區は十三になつて居り調査員は十六年勤続者が一番多くて九名、九年及び六年勤続者が何れも二名宛で異動が少いだけに訓練も行届いて居り従つて実績もあげられてゐる譯で其の顔觸れは左の如くである。

調査區	勤続年數	氏名	年齢
一	六	來栖 幸一郎	六〇
二	十六	吉沼 喜一郎	五七
三	十六	酒井 藤一	五二
四	十六	鈴木 廣吉	五九
五	九	來栖 吉一	四二
六	十六	柳田 長四郎	五六
七	十六	小林 太一郎	五八
八	十六	栗原 榮二郎	五七
九	十六	久家 傳次郎	五二
十	十六	中川 誠之丞	五七
十一	六	璃美 登	四〇
十二	十六	柴沼 覺之助	五七
十三	九	田中 清之助	六二

現在の藤澤村は戸數六百六十五戸で之を業態別に見れば農

る。その總額は二十九萬六千二百三十二圓に達して居りその外に三百十五戸の養蠶家から春繭一萬四千四百七十六貫(七萬二千八百二圓)夏秋繭一萬九千三百六十九貫(八萬六千二百二十七圓)をあげてゐる。今農産物を種類別にすれば

米八千二百五十六石(水粳六六五  
五石、水糯五三石、陸粳七四一石  
陸糯八〇七石) △麥(大麥七九二  
石、小麥二〇二四石) △大豆三百  
五十七石 △小豆十二石 △蕎麥九石  
△甘藷五萬四九貫 △馬鈴薯二萬  
三百四十貫 △菜種七石 △莢豆六石  
△穉元四石 △胡瓜三千八百三十三  
貫 △セロリ二千九百三十貫 △南瓜  
一千三百五十五貫 △茄子一萬一千  
五百三十三貫 △蕃茄九百八十四貫  
△大根二萬九千六百八十六貫 △人  
蔘三千十八貫 △牛蒡五千四百五十  
二貫 △里芋一萬一千四百六十七貫  
△葱五百四貫 △漬菜一萬一千四百  
六十七貫

といふ數字を表はして居り價格の上



藤房卿遺髮塚

視察の時間も大部経過したので役場を辭さうとすると藤田村長が頻りに藤房卿遺髮塚を見て御歸りなさいと勸めて呉れ淺野助役と來栖書記が道案内をしようといふので役場前で記念の撮影をしてから藤澤城趾と藤房卿遺髮塚へ向ふ。宿外れから小高い丘に上るとそこが藤澤城趾である。小田佐竹兩家がこの城をめぐる抗争時を久しうした元龜天正から慶長年間に亘る往時を追想して城趾に行けば遙か櫻川のほとり虫掛の堤防に咲く櫻は正に満開、菜種の黄と麥の青と點綴して藤澤城の昔と現實の情景と相錯綜して感慨無量なる

業四百三十五戸、工業三十戸、商業七十五戸、交通二戸、公務及び従業十三戸、其他百五戸、無業五戸で人口は三千六百十五人(男一千八百四十四人、女二千八百一人)本籍人口は四千九十二人である、之を昭和元年と對照すると現在人口三千五百四十四人(男一千七百五十八人、女一千七百八十五人)本籍人口三千七百八人である本籍人口が三百餘人を増して居るのに現住人口が七十一人より増して居ないのは土浦、眞鍋兩町が近いから従つて耕地面積を見るのに昭和元年には田二百八十四町九反歩、畑三百八十四町五反歩であつたものが昭和十一年度には田が二百八十三町二反六畝二十三歩、畑三百七十六町六畝四歩と何れも減少し之に反して山林は元年の三百二十町四反歩から現在は三百三十三町八畝二十三歩と十三町餘も増加してゐるのである。今から約十年前には乳兒の死亡率が非常に高かつたので之には何か原因があるだらうとわざ／＼縣から調査に出かけた程で當時は確かに村民のうちに弊風があつたが縣の調査によつてそれが突止められてから矯正に努めた結果今ではその弊風も跡を絶つに至つたといふ話さへ傳はつてゐる。

産業といへば工業に屬する醬油醸造が十一年度に三千二百石(八萬六千四百圓)を數へ得るだけで其他は悉く農産物であ

から見れば米が二十二萬七千五百五十六圓を占め其他は合計しても僅かに六萬八千餘圓に過ぎない状態である。産業といふ方面からばかり觀察すれば餘り恵まれた村といふ譯にはい

かないが今年縣から經濟更生指定村に指定されたので之から具體的の更生策を樹立して産業の開發と村民の經濟的な發展に邁進する筈である。



ものがある。老松のもとに小さな碑がある塚こそは藤房卿の遺髪塚である。その撮影をして歸りを急げばまだバスの来る迄には餘裕があるといふので第一區調査員來栖幸一郎さん方を訪れて小票調査の補助簿に就て見聞する。調査原簿によつて小票様式の各欄を簡単に作りあげたといへば間違はなく現地で直接小票に記入するところを補助簿によれば汚損や誤記を少しの手数で免れ得るので實地調査には至極便利なものである。來栖調査員は

私などは年寄で實際仕事も出来ないし何遍か辭めやうと思ひました。が役場の主任さんが一生懸命激勵して下さるのと近頃は區内の皆様も調査季節になると「何時調査に来るか

ね」と聞かれ、進んで正確な材料を出して呉れるので興味  
が湧いて自然に引摺られます  
と沈懐してゐた。指導監督の地位にある統計主任と實際仕事を  
する調査員と區民村民の斯うしつくりしたトリオこそは統計  
調査の完成を齎す礎ではあるまいか。

綺麗に刈り込んだ來栖調査員方の植込みに斜陽が照り初め  
た。話はまだ「盡きない、實際の調査や指導についても色  
々参考になる事を聞きたかつたが丁度土浦行のバスが來たの  
で惜しくも別れを告げて車中の人となつた。

### 寄贈圖書

愛知縣會社要覽	愛知縣統計課	昭和十年度日本赤十字社各病院 患者統計	日本赤十字社
府勢要覽	東京府	總務月報(昭和十二年一月分)	商工大臣官房統計課
高知縣勢要覽	高知縣	統計三月號	千葉縣統計協會
鳥取縣勢要覽	鳥取縣	いしずる三月號	福岡縣統計協會
埼玉縣勢要覽	埼玉縣	靜岡縣勢要覽	靜岡縣統計課
昭和十一年商統計表	農林大臣官房統計課	統計時報第六十五號	内閣統計局
昭和十一年米統計表	全	浪華の鏡三月號	大阪府統計協會
昭和十一年米統計表	内閣統計局	昭和十一年千葉の米統計	千葉縣總務部
昭和十一年米統計表	北海道統計協會	昭和十年千葉縣統計書	全
北海道統計第四十六號	岩手縣統計協會	滿洲帝國民政部第二次統計年報	民政部
統計界二月號	樺太廳	佐賀縣勢要覽	佐賀縣
昭和十一年國勢調査結果報告	資源局	千葉縣勢要覽	千葉縣統計課
昭和十一年國勢調査結果報告		三重縣勢要覽	三重縣統計課

## 統計調査の成績如何は

# 調査員の精神と努力に依る

### 弘經寺や累の遺跡を探る

結城郡豊岡村



そここゝに櫻を眺め乍ら土浦驛から水海道へ通ふ乗合自動車は常總の野を走り、農業祭の準備に忙がしい水海道驛前へ着いたのは四月十二日午前十時に間もない頃であつた。待つこと十分ばかりで元三大師へ行くバスが出た。街をはづれて豊水橋を渡ると結城郡豊岡村である。大きなお寺の前へ行く

と降りされる。報恩寺が馬鹿に大きいので其の入口のところにある豊岡村役場が目だくないのである。明治八年五月七日此の地が千葉縣から茨城縣の管轄に入り區抜所から明治十二年二月戸長役場が設けられた時には一軒を構えた譯ではなくこの報恩寺に役場を置いたといふ由緒のあるお寺で豊岡村と此の地を命名したのが明治十九年七月十八日でその後自治制が施行され村役場が初めて設けられた時も引續きこのお寺を借りて事務を執つたといふ豊岡村といふ名前よりも遙かに古

い縁故があるお寺なのである。報恩寺の右手に古い平家があつて門柱に判然と讀めない程に

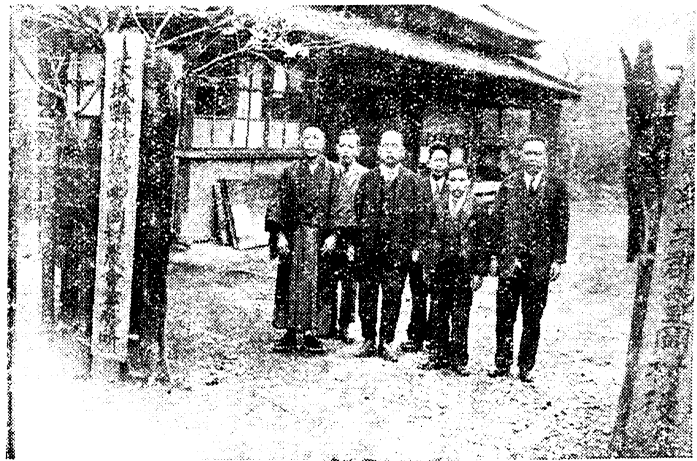
### 結城郡豊岡村役場

と書いてある。椽側から刺を通すれば顔見知りの中島良平書記が快く迎へて呉れる。事務室には流石に椅子テーブルが並べられて居るが隣りの部屋は疊敷で將棋盤などが置いてあつたり鴨居には表彰状が額に入れられてあるあたりは田舎々々しい感じを起させる。記者が中島書記と話をして居ると洋服に下駄穿きで自轉車を役場の庭に乗りつけた中老の紳士が來た。村長飯田貞一さんで挨拶を簡単に済ますとテトブルに向つて一わたり書類に目を通しバットに火をつける。中島書記は色々な書類を取り出して先づ豊岡村の現状から説明をする。豊岡村は結城郡の南端にあつて飯沼、横會根、報恩寺、古新田の四字から成り地形は長方形で南北六軒、東西四軒、周

園が十六軒余ある。東は鬼怒川を隔て、水海道に對し南は仁連川が北相馬郡坂手村の境をし西は仁連川を隔て、猿島郡菅原村、大花羽村に連接してゐる。地勢は概ね平坦で東北に亘つて高地があり地味は一般に肥沃である。面積は官有地二町七反六畝十二歩でその他は民有地に屬する

田百五十五町九反三畝十四歩△畑四百四町七反一畝十九歩△宅地十五萬五千二百坪△山林百三十三町三反六畝十六歩△原野三町二反八畝△池沼三反九畝一步

である。人口は本籍人口四千七百六十五人、出寄留者一千四百二十人、入寄留者百四十五人、現住人口三千四百四十四人(男一千七百六人、女一千七百三十八人)である。此の人口を十年前に比較すれば昭和二年には本籍人口四千六百六十五人(男二千二百七十九人、女二千三百七十六人)で現住人口では三千四百六十七人(男一千七百六人、女



寫眞說明 小林助役(列後)古谷收入役・田飯書記(前右から)中島書記・小田倉書記・飯田長村

一千七百三十八人)で十年前の方が却つて多かつたといふ珍しい現象を示して居るのは入寄留者よりも出寄留者の方が約十倍も多いといふ數字から見てもその原因は略ぼ察しられると思ふ。現住戸数は六百二十戸で

……其の業態別を見れば……

農業が五百戸(自作農百三十九戸、小作百三十戸、自作兼小作二百四十一戸)水産業一戸、工業二十五戸、商業六十五戸、公務自由業二十五戸、無業五戸でこのうちには農業と水産業を兼ねたり、又は商業を兼ねたりといふ副業的なものを營む家が四百二十戸ある。之等の人達によつて生産される産物は米が首位を占めて三千四百九十四石(九萬二千三百八圓)で之に次ぐものは

麥六千三十六石(八萬五千四百四十四圓) 藪一萬四千十三貫(六萬三千二百圓) 大豆一千二百二十四石(一萬八千五百四十六圓)

其他農産物三萬一千七百九十九圓、林産物四千七百四十一圓、水産物三百六圓、工産物三萬六千九百十六圓

でそのうち藪産額は春藪五千七百八貫(二萬八千二百六圓)夏秋藪八千三百五貫(三萬五千七百七十四圓)で養蠶戸数は二百七十五戸であり工産物の主なものは醤油の九百石(二萬一千圓)である。之等の村治一般は村長飯田貞一氏のもとに助役小林松三郎(庶務簿籍)収入役古谷桂次郎(會計各種団体)書記飯田章(稅務土地)書記石塚山藏(兵事學事衛生社寺)書記小田倉六一(稅務統計)書記兼技術員中島良平(勸業農會統計土木)といふ分擔によつて處理され十年度決算によれば歳入二萬三千七十四圓二十九錢、歳出二萬二千四百七十五圓五十九錢でその負擔は一戸平均三十六圓二十五錢、一人平均六圓五十三錢であり村債は道路改良の爲一千六百圓を負つて居るだけである。以上の様な村勢の計數的仕事は村内を八區に分けて統計調査員が各受持區域を分擔調査する事になつて居り現在は調査區 受持世帯數 勤続年數 氏名 年齢

一	九五	六	本	田	作次郎	六七
二	九〇	六	中	島	新三郎	五〇
三	七二	九	染	谷	政吉	六五
四	七五	六	小	林	春次	六六
五	九〇	三	荒	木	貞藏	六〇
六	八一	九	石	塚	捨吉	五三

七	四八	三	石	塚	春	六六
八	六九	三	中	島	淺之助	五二

といふ瀕觸になつてゐる。豊岡村が統計模範村となり縣下に其の成績を誇る様になつたのは調査員に對する物質的な報酬が多い爲ではない。同村の十一年度統計費豫算は總額百七十七圓で調査員手當は米生産調査の分を加へて僅か一人當十三圓に過ぎない。指導訓練會の費用も講習講話會の分を加へて五圓といふ少額に過ぎない、一度講話會を開くのに講師招聘の旅費にすら足りない貧弱なものである。そんな少額の經費に甘んじて調査員は一人平均六十九町九反一畝二十一歩、一千百四十四筆を受け持つて活動しなければならぬのである。之を見れば

……經費が足りない……

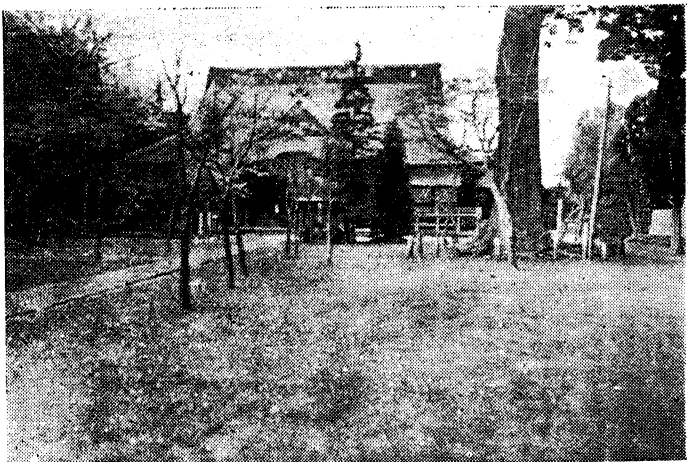
などいふ不平は問題にならず結局調査員の奉公的精神と献身的努力が統計調査の結果を左右するのだといつても過言ではない様である。豊岡村の統計成績が優つて居るといふのは勿論農林統計規則の細則を實施して居る爲ではあるが、この細則實施を適確にするのに新しい考案が案出されて居る。それは第四區擔當の小林春次さんが考案したもので昭和四年の統計調査原簿を基礎とし耕地圖と小票補助票を作つてそれによつて現地調査をするのであるが、更に字別調査補助票を一覽

表式に作つて使用する。此の方法は至極手数をばぶき實際に用ひて便利と實益を兼ねたものといつても差支はあるまい。

尊の豊岡村報恩寺は支坊となつてゐる。それがため

### ……七百年來の行事……

一寸考へると二度の手数を要する面倒なものと思へるが、いざ實際の調査にぶつつかると正確と敏速な調査を助ける上から見て非常に役立つものであるから未だ斯ういふ工風を試みない町村に推薦したいものである。統計調査は決して金をかけたから成績があがるものではなく全く調査員の考案努力に依るもので之を實證したのが豊岡村であるともいひ得ると思ふ。豊岡村は統計成績の優良なので名を知られて居るが一般には弘經寺や報恩寺、芝居でよくやる累の遺跡によつて記憶されてゐる。報恩寺は村役場の直ぐ隣りにあつて性信上人の開基にかゝり文化三年堂宇が建立されたのであるが慶長五年第十一代の時下妻城主の爲に本堂を焼かれ證西上人は江戸に逃れ淺草清島町に本坊を移した爲今もなほ坂東報恩寺の本坊は東京にあり御本



弘經寺の全景

として有名なお鯉開きの故事もこゝでは東京への仲介をするだけなので今年はずい／＼宮内省大膳職から包厨の達人を招いてお鯉開きの行事を信徒に公開した相である。報恩寺の寶物たる大塔宮御彫刻にかゝる陽成天皇御像も東京に奉遷されたが開基性信上人六十五歳直作の像と妹性智上人の像が安置されて居り記者も輪番長尾鳳山師、世話人荒木又之助氏の案内で之を拜觀する事が出来た。報恩寺をそ／＼に辭すると中島書記は弘經寺を案内すると勧められるまゝ二人は自轉車を飛ばす元三大師へのバスを追つて飯田憲之助君の邸を右折すると直ぐ左が弘經寺である。間口十二間、奥行十一間の伽藍は報恩寺にもまして堂々たるものである。開山良壁上人が應永二十一年の建立にかゝり寛永六年再

建されたのが現在するものである。淨土宗に屬し徳川第三代家光將軍の息女天壽院(鶴姫)の菩提所として二十五貫(百石)の領地を頂戴して南譽上人の時勅願所となつて紫衣を許された寺格からいつても立派なものである。境内には佑天上人が經文一萬遍毎に植ゑたといふ山緒のある命號櫻や竹生島から移植した孟宗林や狛が僧侶に化けて墜死したといふ傳説のある來迎杉などの名物がある、今年八十六歳になる桑原大英師は風氣引籠中だつたが記者を迎へて弘經寺の由來を細々と説明し更に累の物語を始める。累は百姓與衛門の孫で繼祖母の虐待を受け乍ら成人して仙臺の浪人と夫婦になつたのだが野良仕事の歸途夫にはかられて鬼怒川に投ぜられ悲業の最後を遂げた。その怨靈が祟つてか後妻を迎へたが生れる子は相次

いで死に與衛門は遂に發狂してしまつた。佑天上人百萬遍を念佛し累の靈を慰めたといふのであるが、弘經寺を辭したのが午後二時近かつたので淨土宗鎮西派に屬する常總觀音靈場指定第二十三番札所横曾根觀音山法性寺へは廻らずに村役場へ引上げた。

### ……花曇りの空は……

うすら寒く感じる程で風さへ加はつて居た。中島書記と一緒に役場で空腹を満たし丁度水海道行のバスが來たのを機会に統計模範村豊岡村の本年度統計調査の上にもた光輝ある一頁を加へん事を祈り乍ら自動車の人となつた。

### ◆寄贈圖書

- 統計時報 第六十六號
- 昭和十年臺灣總督府第三十九統計書
- 昭和十年人口動態統計
- 主稅局第六十二回統計年報
- 統計 四月號
- 内閣統計局
- 臺灣總督官房統計課
- 内閣統計局
- 大藏省主稅局
- 千葉縣統計協會

- 浪華の鏡 四月號
- 統計界 四月號
- 兵庫縣治一覽
- 大日本帝國臺灣統計
- 昭和十年度鐵道統計資料

- 大阪府統計協會
- 岩手縣統計協會
- 兵庫縣
- 内務省土木局編纂
- 鐵道省



然して此の一反歩收穫高を豫想する場合には、精農家、農會關係者等の意見を徴し、最も慎重に判定し、正しい調査を得るに努めねばなりません。勿論五月二十日現在であるから、其の後に來るべき被害等は豫想する必要はなく、ほんとうに五月二十日に寫眞に撮つた様に見積らねばならぬのであります。

斯うして調査したものを、役場では最も敏速に纏めて、五月二十三日迄に縣に到着する様報告するのであります。若し其の日に迄に到着せざる見込のものは、電信又は電話に依り不取敢報告せねばなりません。電信の場合には大麥田何反何石畑何反何石稈麥田何反何石畑何反何石小麥田何反何石畑何反何石と、田畑別に作付反別と豫想收穫高を記載するを要します。

尙報告書に於ける前年收穫高は、前年の實收高を記載するのですが、往々豫想收穫高を記載する向がありますか

のは管苗であります。管苗は未だ養成済にならないから調査の必要はありませんが、次年に於て養成済のものは代出として調査するのであります。

### □桑 畑

(市町村報告期七月十五日限)

本表は農産物調査方法に依り調査すべきもので例へ採葉の樹齡に達しなくとも洩れなく調査されたい、畑の本畑には桑を主作物とする所謂純粹なる畑反別を、畑の其の他の欄へは他の作物例へば間作混作せられたる準桑畑を仕立方に依り夫々調査されたいのです。其の他の欄には畦畔其の他畑以外に散在するものを仕立方に依り反別を見積り掲上すべきであります。根刈とは地上一尺未満を、中刈とは同一尺以上三尺未満を、高刈とは同三尺以上を主幹とし枝條を伐採するものを謂ひ、立通とは一定の剪枝を行はざるものを謂ふもので桑葉過剰の爲め刈取ざる反別

ら注意を要します。

次に備考欄には、前年に比較しての作付反別の増減事由並に氣候の適否、施肥の多少、發育の経過及病蟲害、風水害の有無等の所定事項を記載説明することを忘れざる様願ひます。

### □ナタネ作付段別並作物

(市町村報告期五月二十三日限)

本調査は麥豫想收穫高と同様に五月二十日現在を以て作付反別と前年作物に對する其の年作物の割合とを調査するのであります。調査員は此の期日以前に於て實際の作付反別を細則に示す處の農産物調査方法に基きて耕地一筆毎に實地踏査を終つて居らねばなりません、而して其の作付反別調査票を整理の上春季調査集計表を作成し示された期日に調査票と共に役所、役場へ提出すべきに付其の調査材料に依つて計上するものなれば其の作付反別は實收の反別と相違せざる筈であります。故に單なる見積りや推計に依り計上する

を立通しとするものではないから注意されたい。

### □茶 畑

(市町村報告期七月十五日限)

本表は農産物調査方法に依り調査し例へ採葉の樹齡に達しないものと雖も其の反別は調査すべきもので普通採葉樹齡は四年位です。畑の欄には茶を主作物とする反別及混作間作された反別乃ち其の間に大豆、玉蜀黍等を間作する場合及桑其の他の樹木を間作混作せらるゝものと雖も茶を主作物とする限り茶畑たるべきに付注意せられたい、其の他の欄には畦畔其の他、畑以外に栽培された反別を見積り計上されたい

### □春蠶豫想收穫高

(市町村報告期六月二十日限)

本表は六月十五日現在に依り、調査員が自己擔當調査區内の各飼育者を巡回して、實際の蠶作の状況を調査し、尙當業者の意見をも參酌して其の區内

様な事なき様特に注意して頂きます。

又前年作物に對する其の年作物の割合は調査員が實際の状況を巡回調査し尙精農家等の意見をも徴して其の作物の良否を決し五月二十日現在に於ける見込割合を推定するのであります。前年が不作の時でも豊作の時でも前年を一〇〇とし其の年割合を前年に比較して三割増収見込の場合は一三〇とか或は二割減収見込の場合は八〇と云ふ様に記入するのであります。から平年を一〇〇として其の年割合を決める様なことなき様特に御注意を願ひます。

### □桑 苗

(市町村報告期六月十五日限)

前年六月より其の年五月に至る期間に於て苗木生産に従事した戸數を調査するのであります。苗木は養成済のもの、數量を調査するのですが、砧木又は原苗として使用した數量は調査の必要がありません、尙製表に際し注意を願ひたい

の蠶種一瓦當平均の豫想收穫量を調査し、之に掃立數量を乗じて算出するのですが、若し無收穫見込數量あるときは之を除外しなければならぬ。

前年收穫高は前年の實收高で、豫想の收穫高ではないから、誤記せざる様注意が肝要である。

### □麥

(市町村報告期 七月十五日限)

麥の作付反別は、麥豫想收穫高の注意として本欄に記載の通り、農産物調査方法に依り調査するものであるから豫想收穫高の際報告したものと一致することは勿論である。若し此れが合致しないのは(一)誤算があつたとか(二)調査洩の反別があつたとか(三)或は重複調査した反別があるとかに依るものであるが調査區が劃然と決つて居り、作付反別調査原簿や、耕地圖が作製してあるのだから、先づ(一)(二)(三)の事項は本縣内にはありよう筈がないのである

が、何れにしても反別が一致せぬ場合には、備考に、其の事由別に反別の相違を説明して貰ひたいのであります。收穫高は、田畑別に作物毎に一反歩收穫高を決定し、作付反別の右區分に依り調査したものを各々乗じて算出し其の上中下の合計を掲上げて本表を作製するのであります。

尙單價は當該作物の收穫季節、即ち五六月頃の平均價格を調査し、之に依り價額を求むるのであります。

備考欄には豫想收穫高及前年收穫高に對する増減並氣候の適否以下は、豫想の場合に注意したる如く附記するのであります。

春 蠶

(市町村報告期 七月十五日限)

春蠶は養蠶調査方法に依つて、春蠶票に依り掃立數量、收繭高を調査するのであるが、課税の標準や所得の判定資料に使用せらるゝを恐れ、隠蔽する虞が尙幾分ある様であるから、調査員は此の点を充分飼育者に説明して、統計の使用目的が斯るものでなく、又全然使用し得ざることを理解せしむるに務めて貰ひたいのであります。然し

て尙養蠶實行組合や、四圍の状況等に依り觀察して、疑のあるものは一層綿密に判定して正確なものを得る様、慎重な調査を願ひたいのであります。

戸數は、其の季節に養蠶に従事した凡ての戸數を計上し、掃立數量は中途で投蠶したものでも凡て調査をし、又中途で一部を甲より乙に譲渡したとか云ふ場合には、甲の掃立數量より乙に渡した分を控除し乙の飼育する掃立數量を乙の掃立數量とし、原簿も春蠶票も之に依り正確にせねばなりません。

又收繭量は自家用も調査するもので上繭、玉繭、屑繭の三つに分ち調査するものであつて、上繭は汚染せざる完全なもので、屑繭は玉繭以外の汚れ繭とビシヨとかノビとか稱するもの全部を包含するのです。

鶏 鶯

(報告期七月十五日限)

鶏及鶯の調査は戸數及羽數は六月三十日午後十二時現在に依り産卵數は六月三十日中に産みたるものを調査するのであります。調査に際し尙左記の点特に注意を願ひます。  
1 成鳥とは孵化後滿六ヶ月以上のものにして雌及雄に別ち調査するのです。



馬だけが減つて 豚や牛は漸次増す

十一年末の畜産統計に 現はれた縣下の飼養數



本縣の昭和十一年末現在に飼養されて居た戸數は牛の二萬四千九戸、馬四萬五百九十八戸、豚三萬八千八百二十七戸、羊百七戸、山羊千六百七十三戸で前年に比べ牛は三千百六十三戸(一割五分二厘)、豚は三千四十八戸(零割八分五厘)細羊は四十三戸(六割七分二厘)、山羊は三百五戸(二割二分三厘)を孰れも増し、馬のみは千三百九十戸(零割三分三厘)を減じて居る。

又飼養頭數は牛二萬六千二百二十七頭、馬四萬二千五百九十八頭、豚六萬千五百二十頭、細羊二百五十九頭、山羊二千二百七十五頭で前年に比べ牛三千六百五十一頭(一割六分二厘)

2 雛とは孵化後六ヶ月未滿のものにして雌雄別の調査を要しません  
3 産卵數は六月三十日一日の産卵を調査し之に一年の日數を乘し其の町村の一年間の産卵とすべきものに付一年の日數にて除し端數を出さざる筈なるを以て注意を願ひます  
4 飼養戸數は羽數別に調査するので其の羽數には雛も含むに付御承知を願ひます

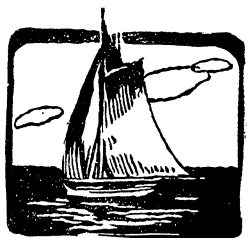
一反歩收穫高並單價

本期に於て製表報告すべき主なる作物の昭和十一年に於ける反當收量並單價を參考として掲ぐれば次の通りであります

大麥	二・三〇	石	一石當價格
小麥	一・三二	石	一石當價格
燕麥	一・三九	石	一石當價格
秣	一・三六	石	一石當價格
反當	二・一五	石	一石當價格
肥田作物	二・一五	石	一石當價格
モロシク	三・八九	貫	四十貫付價格
ソラマメ	二・七五	貫	四十貫付價格
エンドウ	三・八七	貫	四十貫付價格
青刈大豆	二・四〇	貫	四十貫付價格
其他	三・二六	貫	四十貫付價格

豚五千九頭(零割九分一厘)、細羊百二十一頭(八割七分七厘)、山羊三百六十四頭(一割九分)を各々増加し馬のみ千五百九十六頭(零割三分六厘)を減少した。  
尙昭和十一年中に生産された頭數は牛千二百二十一頭、馬千六百頭、豚四萬六百一頭、細羊三十八頭、山羊五百二十八頭で前年に比べ牛三百六十二頭(四割二分一厘)、豚四千八百八十七頭(一割三分七厘)、細羊二十七頭(二割四分八厘)、山羊百五頭(二割四分八厘)をいづれも増し馬に於ては二十三頭(零割二分)の減少を見た、飼養戸數及頭數を各郡市別に示せば左の通りである。

郡市別	飼養戸数				飼養頭数			
	牛	馬	豚	山羊	牛	馬	豚	山羊
都市別	三	三	一三	一	一〇九	三〇	二五	一
水戸	三	三	一三	一	一〇九	三〇	二五	一
東茨城	三,二〇〇	二,九七七	三,六六五	三	三,六六八	二,三〇〇	六,三三八	二
西茨城	三,三〇〇	二,九七七	三,六六五	三	三,六六八	二,三〇〇	六,三三八	二
那珂	一,一五五	二,九七七	一,一七〇	五	一,一五五	三,〇〇〇	七,八二二	三
久慈	四六一	三,三三三	一,二七二	二	三三三	四,〇〇六	一,九八八	二
多賀	二〇〇	三,三三三	一,二七二	一	三三三	四,〇〇六	一,九八八	二
鹿島	二,三三三	二,九七七	四,九六五	一	二,九七〇	二,七三三	七,一〇一	一
行方	二,〇五五	一,八七五	一,三三三	四	二,二二二	一,八六八	一,八〇〇	九
稲敷	三,七三三	一,八五九	二,八〇一	八	三,九六六	一,八六八	四,七九四	一七
新治	一,九七二	四,五七五	三,〇六九	一五	二,〇八八	四,四四四	四,九一〇	五
筑波	一,二二二	二,九七七	二,四九一	一	一,八七二	二,三〇八	三,八八八	三
眞壁	九六六	三,六六六	三,七五九	一	一,〇二二	三,九六六	五,八二二	一
結城	二,〇六六	二,九七七	三,七五九	一	二,三三三	二,三三三	五,五五五	九
猿島	一,二二二	二,四九九	三,五七〇	一	一,八六八	二,四九九	五,一五〇	一
北相馬	一,一三三	一,三三三	一,〇〇〇	三	一,一三三	一,三三三	一,六六六	三
昭和十一年末	二〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	一〇	一,七三三	四,三九九	六,一五〇	二五九
昭和十年末	二〇,八四六	四一,六八八	八三,七一九	一〇	一,七三三	四,三九九	六,一五〇	二五九



# 海や湖沼河川から 壹千七百餘萬圓の稼ぎ

## 縣下の十一年度水産統計

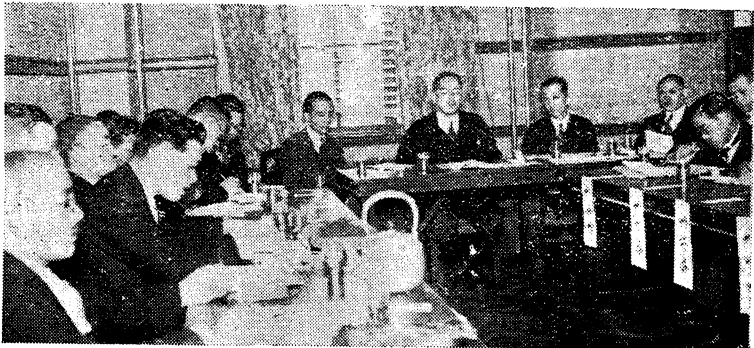
昭和十一年度の水産物總價額は一千七百四十六萬八千七百八十圓で之を種類別に觀れば沿岸漁獲物で六百二十四萬八千五百十圓、遠洋漁業で百九十六萬二千六百三十九圓、水産養殖で九萬三千九百二十八圓、水産製造物で九百十六萬四千六十三圓である。尙之を前年と比較すれば總額で五百四十六萬七千七百六十五圓(四割五分六厘)沿岸漁獲物で二百五十七萬七千三百五十七圓(四割九分二厘)水産製造物で二百五十七萬二千八百九十九圓(三割九分)水産養殖で三萬一千六百四十八圓(五割八厘)遠洋漁業で八十萬五千八百六十一圓(六割九分七厘)を孰れも増加した。

尙總額を郡市別に觀るに鹿島郡の八百五十二萬三百四十八圓が第一位を占め多賀郡、久慈郡、那珂郡、東茨城郡、新治郡、行方郡で、十萬圓を越えぬところは稲敷、猿島、北相馬眞壁、結城、筑波、水戸、西茨城の順位である。

更に之を種類別に觀れば沿岸漁獲物で鹿島郡の三百九十五萬八千八百九十八圓が第一位を占め之に亞ぐるのは多賀郡、那珂郡、東茨城郡、行方郡、新治郡で十萬圓に満たぬところは稲敷、久慈、猿島、北相馬、眞壁、結城、筑波、水戸、西茨城各郡の順位である。遠洋漁業では久慈郡の九十六萬九千七百九十圓が第一位を占め之に亞ぐものは那珂郡、多賀郡、東茨城郡、鹿島郡の順位である。

水産養殖では東茨城郡の五萬四千四百三十六圓が第一位を占め、之に亞ぐるのは猿島郡、新治郡、那珂郡、筑波郡、眞壁郡、鹿島郡、行方郡、久慈郡、稲敷郡の順位で其の他は孰れも千圓以下である。水産製造物では鹿島郡の四百五十五萬六千七百七十五圓が首位を占め之に亞ぐは多賀郡、久慈郡、那珂郡、東茨城郡、新治郡、行方郡、稲敷郡の順位である。之を種類別郡別に示せば次の通りである。

郡市別	内				合 計
	沿岸漁獲物	遠洋漁業	水産養殖	水産製造物	
總 數	九五三	一七、一一〇	六五八	二七三、一四〇	一、六一一
水戸市	三一九、〇七三	—	五四、四三六	—	六六三、七五九
東茨城郡	五六五	—	九四四	—	一、五〇九
西茨城郡	三六六、七一一	八四六、〇九四	四、三二二	四一七、四九一	一、六三四、六二〇
那珂郡	三八、七四五	九六九、七九〇	一、四〇七	一、二一八、三九五	二、二二八、三三七
久慈郡	一、一七三、五二〇	一二六、一四五	二五六	二、三八七、七〇五	三、六八七、六二六
多賀郡	三、九五八、八九八	三、五〇〇	一、七七五	四、五五六、一七五	八、五二〇、三四八
鹿島郡	一四三、八二七	—	一、六五四	—	二四五、三七八
行方郡	七七、八一九	—	一、〇一三	—	八五、六六二
稲敷郡	一一八、六〇八	—	一〇、一二八	—	三三三、一六六
新治郡	五、五九七	—	二、六八〇	—	八、二七七
筑波郡	九、六一六	—	一、九〇六	—	一一、五二二
眞壁郡	七、五四九	—	九四九	—	八、四九八
結城郡	一三、九三〇	—	一一、二〇〇	—	二五、一三〇
猿島郡	一二、七三七	—	六〇〇	—	一三、三三七
北相馬郡	六、二四八、一五〇	一、九六二、六三九	九三、九二八	九、一六四、〇六三	一七、四六八、七八〇



## 体験を基礎に……

# 統計座談會

各郡の精鋭を一堂に集めて  
三月二十五日茨城會館に開催

統計座談會は三月二十五日午前十一時から統計協議會に引き続き茨城會館食堂に開催された。川崎統計課長座席につき囑託加藤敬愛氏を一同に紹介し各郡から選ばれた統計の權威が各自の体験に基づく意見の開陳を試み、多大の收穫を得て午後一時散會、午餐を共にして解散した。座談會の内容は大要左の如くである。

### 出席者

【縣統計協會側】川崎統計課長(副會長)、小林綠、成瀬常吉、高島萬藏、齋藤清市(各幹事)加藤敬愛(囑託)  
 【各郡町村側】藤地伴介(東茨城郡上中妻村)宇都野久三(西茨城郡岩間町)岡崎輝吉(那珂郡鹽田村)助川國勝(久慈郡賀美村)田村實(多賀郡坂上村)大崎健爾(鹿島郡大同村)正木邦司(行方郡麻生町)油原眞(稻敷郡柴崎村)來栖吉一(新治郡藤澤村)飯岡榮助(筑波郡高道祖村)横瀬定平(眞壁郡大甞村)中島良平(結城郡豊岡村)加藤由之助(猿島郡長田村)坂本惠(北相馬郡東文間村)



**川崎課長** 座談會の進行を圖る爲に私が座長の席を汚します。先づ『調査員の活動を促す方法』に就て御意見を伺ひ度いと思ひます。調査員の活動は統計事務の要素をなすものですが其の方法は色々あると思ひます。訓練を試みるとか、優遇の道を講ずるとかいふ様な事もありませうが、皆様が直接指導に當られる立場から、どういふ方法が最も効果があるかといふ事を御懇談願ひたいと思ひます。助川若何か御参考になる事を伺ひませう。

**助川國勝** 課長様から御指定になつたので皆様の御参考になるかと思ひまして一言申し上げます。統計調査員會は一年に四回以上は開催する事が必要かと思ひます。第一に肝要なことは統計調査員には農民魂が必要である。此の農民魂を以て農村を益し國家を益する統計調査を爲さしむることが大切であります、私の村では三月二十二日から昨日迄各部落で經濟更生座談會を開きまし

たが村民に共存共榮の心がなければ經濟更生は出来ない。此の精神を涵養すると共に之が施設上最も大切なものは之と關聯する統計で即ち切つても切れぬ關係を有するものである。基礎的資料である統計が誤つてはよき計劃は生れないし住みよい村は出来ない。それだけに町村の統計主任は責任が重大なのだらうと思はれます。統計に立脚して其の町村に即した計劃を樹て各部落で其の趣旨を高潮して行く、斯うしなければならぬ、村民の自覺も茲になければならぬ。近頃は統計に基礎をおくといふ風になり統計の重要性が認められて來たのは喜びに堪へぬ。調査員も大いに鼻が高い事と思ふ。

又先進地を視察する事が必要だと思ひます。千葉縣御宿町では調査員に賦役を特免して居る、斯ういふ方法も調査員を發奮させる。又調査員の書類を調査して優良なものを表彰する、不完全なもの手を入れて再調査させる、打合

會の始めに調査員が材料を持寄つて準備的に照合し欄外記入をする事も必要であります。町村報等によつて調査事項を村民に周知させて置いて報告の結果に現はれたものと照合させるのも興味を唆るものと思ひます。調査員會議の出席手當か辨當を支給する事も督勵の一助になると思ひます。訓練會の時に部落的に出席證を設けて出席率を高める、甲乙の調査員が相互に助けて協同調査を實施する、實地調査には主任が巡回指導をする。重要調査とか複雑な調査の場合には日割を定めて指導者は調査員に臨み手傳つてやる。又調査の實際に當つては何れも忙しいので書類の様式なども成るべく簡易化し一字でも手數をばぶく様にしてやる、そして成るべく余剰時間を他の方面に振り向ける様にさせたいものです。調査用具を交付してやるのも便宜な方法かと思ひます。假令へば調査用の圖

板、状態、封筒等と與へる。私は斯ういふ封筒を考案致しました(實物を示す)封筒の中を切り取り役場と調査員の宛名を表裡に書いて差替へるのです之は一々宛名を書く手數をばぶいて便利なものですよ。

**川崎課長** 封筒を印刷しておく處もありますが賀美村の考案は大層結構だと思ひます。賀美村は事務の成績も良し調査員に對しても色々優遇して居る様で甚だ喜んで居ります。

**助川國勝** 將來は糞に申した御宿町同様賦役の特免までやりたいと思つて居ります。

**川崎課長** それから今の賀美村の誤を正すといふ事は良い、私の性分としては少しの誤りでも正す、統計に關する限りは誤りをなくする、統計事務の要諦は殆んど之につきると思ひます。今の問題について何か御意見がありますか……では次に移つて『町村民に對する統計思想普及方法』に就て御意見を伺

ひませう。此の事に就ては統計協會も縣と協力して映畫會を開催して宣傳に努めて居ります。昨年映畫會を開催致しましたのは三十四回で二萬五千以上の觀衆を集めました。町村としても統計思想普及には何か御考があるでせう。

**飯岡榮助** 私の村では特に力を注いで居るといふ事はないが調査時期に先だち半紙四切位のものに今度は何々の調査をやるといふ様な簡単な事を書いて配付し、農家組合の月例會の時に調査員や主任が行つて區内や村内の色々な數字を知らせて統計精神の涵養をし、又は統計調査は納税などには絶対に關係がないといふ様な話をする事にして居ります。

**川崎課長** 村報などは利用されませんか  
**飯岡榮助** 私の方では村報を各戸に配付して居ります。

**坂本恵** 村報については警察で出版法の關係もあるので取締がやかましく二ヶ

月で止めて了ひました。

**加藤由之助** 警察へ届ければ宜しいのではありませんか。

**川崎課長** 直接取締の衝に當る警官の手心で取扱も様々で、映畫會なども何處かで中止された所がある様ですね。

**大崎健爾** 私の方では經濟更生の映畫會を簡単にやれました。

**飯岡榮助** 一般の人は町村報を読んで呉れるでせうか、さうすれば非常に便宜ですから私の方でも更に統計に就いて登載して見たいものです。

**助川國勝** 村報などに記載する場合は文句を少くして項目を多くする様にしながら効果が有る様です。最近の例ですが苗木を希望者に配付すると村報に掲げたら、十四五名も申込者がありました。

**加藤由之助** 農家組合の集會の時役場員が出席して統計に關する話をするのが徹底する様ですな。

**助川國勝** 部落集會の時統計圖表を見せ

るとよいと思ひます。

**川崎課長** 本縣内の町村では余り圖表に重きをおかないが千葉縣は非常に利用してゐる様です。

**加藤由之助** 茨城縣も十年たてばよくならと思ひます。千葉縣は今乗りきつて居るところでせう。

**川崎課長** 圖表は一目見ると概念が入るので非常に解り易い、視察に來た時など之を見せるのが理解するのに早い様です。是非本縣でも之を奨励したいと思ひます。次ぎは『一反歩收穫高決定の苦心談』を伺ひませう、種類とか面積は別として收穫高の決定は合議制となつて居りますが、實際に當つてどんなところに苦心されるかに就て藤地さん如何です。

**藤地伴介** 米麥特殊作物を先づ上中下に區別して適當に決めて最後に調査員と合議するのですが昨年の場合などを申しますと青作は上と見たものが收穫の時には下になる。下作の方が中作より

收穫が多いといふ様な實收になるといふ譯で篤農家や調査員の意見を聞いても中々うまくゆきません。

**川崎課長** 宇都野さん如何です。

**宇都野久三** 收穫決定に對しては調査員と區長と協議することにしてゐますが、二石の實收と見たものが坪刈では二石四斗となり非常な差が出来る。私の町では坪刈の結果の一段歩の收穫に比較して實收に於ては二割から二割五分を引いて決定した爲豫想と實收との相違が少かつたといふ様な事もありました。以前には坪刈をしようとしても中々承諾しなかつたものですが今ではよくなりました、早い頃には篤農家でさへ坪刈をやらうとしても承諾しなかつたものです。

**川崎課長** 坪刈は作柄に注意して其の個所を多くすれば自然實際に近い數が現はれ相違が少くなると思ひますが岡崎君如何です。

**岡崎輝吉** 作柄と收穫高の決定には苦心

坪刈よりも全刈の方が減する模様です。

**飯岡榮助** 今迄の經驗から見ると上中下と等差をつけて收穫の見込をたてるのですが、實際になると中や下の方は見込よりも余計に出る様です。

**岡崎輝吉** 坪刈の結果に就て調査員全体で收穫高の決定をするのですか。

**加藤由之助** 私の村は田が少く麥作を主として居りますが調査區毎に作柄、反別等に就て調査員から報告をとつて收穫高を決定しますが、標準は變更しない方がよい様です。そしてその標準に依つて作柄の階級を訂正した方が好いと思はれます。

**岡崎輝吉** 作柄決定後暴風とか螟蟲の被害とかあつた場合には再調するのですがなか／＼うまく出来ません。

**助川國勝** 私の方では青作當時に上中下の報告をさせ、更に再調査をさせて登熟期に訂正するといふ方法をとつて居ります。

**川崎課長** 調査區毎にやるのと全体の合議によるのとどちらがよいかといふ意見がある様ですが……

**岡崎輝吉** 村全体となるとやりにくい様です。

**坂本恵** 例令へば一區と八區では收穫高が大いに違ふ。或る區では上中が多く或る區では中と下が多いといふ様な事もあるので調査區毎に意見を纏めた方がよい様です。

**助川國勝** 米の調査と同様他の農作物についても調査區毎にやるのが理想的だと思ひますが米作以外は實收状況を参考として坪刈と参照決定します。調査員の合議二日前に見込を出させ、會議の議題として調査區別に審議する様にして居ます。

**坂本恵** 私の村では調査區毎に坪刈をやり、調査員、技術員、篤農家の意見を聞いて決定をやりませう。

**川崎課長** 調査區毎に審議をするといふ事は非常に結構なことですが全調査員

して居りますが私の方では前以つて上中下の標準を決定しておきます。五大字を十區に別けてゐますがその大字について以前から上作か中作かを見込つけておいても上作が中作より減する場合もありますので調査員が持區の全刈をする事にしました。之を坪刈したものと一緒に協議會に提出させるのです本人の聞取を殆んどやらす、調査員が坪刈と全刈について協議決定するのです。

**川崎課長** 調査區毎にですか。

**岡崎輝吉** 大字毎です大字毎全刈をしようとして居ると對照協議するので。尤も全刈といつても測量迄しなければ正確に近いものが判りませんから將來はそこ迄やりたいと思ひます。

**飯岡榮助** 其の点に就ては私の方では耕地整理が施行され耕地が整然として居るので恵まれて居ります。

**田村實** 私の方では中作を標準とし篤農家の意見を參酌して決定するのです

が凡ての作物に眞剣に調査をすることが出来るかどうか色々危険もあるので現在は合議制として居るのです。調査區で決定したるものを資料として判定するといふ事になるので合議制の方が安全である、那珂郡から合議制を調査區毎に審議するといふ事に就て希望があつたが久慈郡などでは之と反對で合議制を希望してゐます。

**坂本恵** 現在の状態を改めるといふ事は困難ではないでせうか。

**岡崎輝吉** 貧弱町村などの問題もあつて自己の町村を有利に導くと云ふ様な町村もあり此の問題はなか／＼むづかしい問題だと思ひます。

**藤地伴介** 私の村などでは養蠶をやつて居るので統計調査は所得税の申告に關係があるところから隠して困ります。

**助川國勝** 冷害調査の場合統計調査を參考に聞きに來たがさういふ關係もあるので私は統計調査の結果を見せませんでした。

**坂本恵** 水害の時私の方でもお話の様になりました。

**川崎課長** 次ぎは「統計事務不振町村を無くすること」に就てお話を伺ひませう。

一同 之は大問題で六ヶ敷しいですナ。

**川崎課長** 昭和十一年の統計事務検閲の結果に依れば細則に依る調査方法實施の状況は水戸市は全部實施して居り、東茨城郡は三十二町村中實施したものが十八町村で十五町村が残つて居り、西茨城郡は十四町村中十一町村が良く三町村が不振で前年に比し二ヶ村向上しました。那珂郡は三十三町村中二十四町村が良く不振九、向上一で久慈郡は三十四町村中三十二が良く二町村が不振で向上一、多賀郡は四ヶ年連続して全部實施の記録を作りました。鹿島郡も二十二ヶ町村全部實施された事は御同慶に堪へません。行方郡は二十町村中十九町村が優良で不振一村四ヶ村の向上を見ました。稲敷郡は三十四町

村中二十七町村が實施し七町村残り一ヶ村向上致しました。新治郡は三十五町村中三十町村が良く五町村だけが不振として残り二ヶ村向上を見ました。筑波郡は二十七町村中二十二町村が良く五町村が残り前年同様であります。

眞壁郡は三十一町村中二十九町村が良く二村が不振で一ヶ村向上し結城郡は二十七町村中二十一村の實施を見六ヶ村が残りましたが五ヶ村が向上しました。猿島郡も鹿島郡同様全町村が實施を見二ヶ村向上致しました。北相馬は二十四の内二十二が實施二ヶ村残り。以上の様な状況で年々不良町村は減じ十一年には二十八町村向上したといふ成績で敷年後には不振町村を全々なくする決心で居ります。其の方法はどうすればよいか。行方郡の如きは十年には五町村良くなり十一年には四町村向上して居りますから十二年度には全部よくなるものと思はれます。之は支部役員の正木様の様に町村に臨んで側面か

ら指導奮勵した結果によるもので鹿島郡の如きも或る村の如く支部の大崎君などが指導した爲に大いに成績を向上した所もある様です。さういふ例もあるのですからお互によい方法を教へ合つて不振町村絶滅に協力したいと思ひます。久慈郡は町村個々としては優れて居るが郡を單位として見ると不振町村が二つあります、之が玉に瑾で鹿島郡や猿島郡に一步を譲つて居る。東茨城郡は十五も不振町村があります。本縣の統計事務成績も今では全國の模範とされて居る状態では非僅かに残つた不振町村を一日も早く一掃したいものです。

**加藤由之助** 不振町村の絶滅といふ事は就ては各部會が町村を奮勵するのが一番よいと思ひますが。

**岡崎輝吉** 不良町村で調査員會を開いてはどうでせうか。豫算を計上しても調査員に手當をやらぬ所がある様に聞いて居ますが之などはひどいと思ひます

**大崎健爾** 不振町村の状況を見ると調査員が區長や町村會議員などで統計調査の方は名譽職だといふ考へから余り活動しない、之を交替してはどうでせう

調査員の奮勵は統計主任だけでは力が足りない、町村長の助力を俟たねばならぬと思ひます。

**坂本恵** 調査員の仕事も仲々容易でない余り活動しない調査員にやい／＼督勵して調査をやつて貰ひましたが夜まで働かねば追いつけないのでとう／＼其の人は自發的に辭任して了ひました。

**川崎課長** 統計調査は一個の調査員の責任ばかりではなく全調査員が協力してやるべきで町村としても黙つて居る方がないのです。

**齋藤幹事** 稲敷郡では優良町村の主任が各自の部會より此の不振町村を無くすることにし其の不振町村に出かけて指導する様にして居る様ですが相當効果がある様です。

**大崎健爾** は怒られる事があるかも知れませんが加藤由之助外から来て、余計な御節介をするのだといふ風に誤解される事もありますから……

**正木邦司** 私の郡には不振町村が一つあります。甚だ遺憾で十二年度には全部町村とも完全に調査をしたい考へであります。支部として役員總動員で指導奮勵したことを申しますと主任に手當をかけぬ様に小票、その他統計書類等の表紙を町村に配布する、そして文書の整理を統一する。又町村の訓練會には支部の役員が出かけて取扱について話し合ふ。此の指導等では細則に屬する調査をしないので話して見ると主任から話がなくて判らなかつたといふ様な譯で話し合ふのが肝要だと思ひます。優遇といつても手當は縣平均額程度にしそれ以上は精神的にやる様にしたいものです。例令へば慰安を兼ねた視察旅行をするとか、調査員の表彰をしたいと準備して居ります。調査員の活動

といふ事に就ては年齢も關係がある様で千葉縣(視察町村)では十七歳から四十歳位になつて居り若い方が活動能力がある様である。調査員と取扱者との密接な連絡が必要かと思ひます。

**油原眞** 縣の力でやつて貰ふのが一番有力かと思ひますがネ。

**飯岡榮助** 之がこちらが一生涯命でやつても向ふが受けて呉れなければ駄目なので仲々うまくは行きませんナ。

**川崎課長** 縣が直接指導するといふ事も出来るだけやつて居ますが町村の主任の方が積極的に働いて頂き、又は統計協會とか支部とかいふ團體の力を籍りるといふ様な方法を講ずる、表面から攻めても効果がなければ裡から働きかけるといふ風にしたいものです。

**飯岡榮助** 各部會で責任を持って出来な

い事はないと思ひます。

**藤地伴介** 郡内全部といふ譯にはいきませんが部會位ならば出来ると思ひます。今度は私も幹事になりましたから六ヶ

村位は責任を以つて改善したいと考へて居ります。

**助川國勝** 久慈郡に二つの不振町村があるのは申譯が御座いません。縣にも御助力を願ふと同時に主任が助力し眞剣にやれば改良は出来ると思ひます。眞剣の前に不能なしとか申しますが二三町村が協力してお膳立をすれば不振町村の主任も勢ひやらざるを得なくなるのではないかと思ひます。それで我々は御手傳的に出席して協力する、之を協會あたりで指定して頂くのはどうしたものでせうか。

**藤地伴介** 調査員の任期を決めて不良調査員を絶やすといふのは如何でせう。  
**助川國勝** 調査員といふよりも寧ろ主任ですナ。成績のあがらぬものは譴責するなどは……。

**川崎課長** 譴責などは所謂傳家の寶刀でなか／＼抜けるものではありませんヨ。  
**來栖吉一** 新治郡などは部會ではやれませんナ、講習會を縣で數ヶ所開催して頂けば結構ですが。

**飯岡榮助** 町村の統計主任に魂を吹き込んでゆく、それには縣の力を借りるのは勿論ですが附近町村が協力して後援助成するといふのがよいと思ふ。  
**川崎課長** 茲まで來ればもう紙一重で決して悲觀すべきではない。

**岡崎輝吉** 調査員が活動しないのは手當が少いからではないでせうか。  
**川崎課長** 必ずしもさうではない、猿島那飯島村などは僅少の手當でも相當活動して居り成績もあげて居ります。  
**横瀬定平** 私の方の二ヶ村などは現状のままでは到底改良は出来ない様です、然し改善の道が無いでもありません、古里村の戸頭さんなどに指導して頂ければ絶望とはいへません。

**中島良平** 私の郡には六ヶ村不振なものがあります、部會は四つあつて第一と第二は良く之等から第三部會に呼びかけて部會の力で町村を動かす様にした

せんナ、講習會を縣で數ヶ所開催して頂けば結構ですが。  
**川崎課長** 此の上とも隣保共助で斯道向上の爲御盡力を頂き度いものです。次は『統計協會に關する希望』に就てお話を伺ひ度いと思ひます。  
**助川國勝** 調査員の發奮を促す意味からしても統計大會を早く開いて頂き度いと思ひます。映畫會は今年二ヶ所所願ひしたいものです。  
**岡崎輝吉** 映畫會は一町村何ヶ所ですか  
**川崎課長** 一町村一ヶ所は輪番に統計協會の方で經費を負担しますが其の他は實費を申受ける事になつて居ります。  
**横瀬定平** 町村負擔金を倍にしても協會の力で督勵をしたり又は町村の希望に副つて貰ひたいものですナ。  
**川崎課長** 負擔金は三百八十町村を相手に考慮しなければならぬので増額などいふ事は困難かと思ひます。統計大會を成るべく早く開催したいといふ考

へから年々準備金を積立て、居りますが何しろ莫大な經費を要するのと適當な時機といふ事も考へなければならぬので今少し御辛抱を願ひます。  
**坂本恵** 茨城統計でも懸賞募集などをやつて見ては如何でせう。例令へば米收穫高の豫想などいふ様なものとか縣内の人口とかを懸賞募集するといふ様な事ですが。

**正木邦司** 統計協會創立の十月八日を統計デーと制定し協會の創立を記念すると同時に統計思想の普及を圖り、學校や役場などで統計に關する講演講話や映畫會を催すといふ風にしたら如何でせう。  
**川崎課長** 記念日は縣だけでやるよりも全國的に統一した方が効果があると思ふので縣で單獨に記念日を制定するといふ事は考へて居りません。

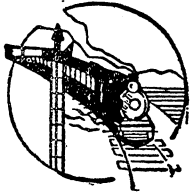
**正木邦司** 支部に對する補助を増額する様に考慮して頂きたいのですが……  
**川崎課長** 支部で色々な事業を計劃して

**統計主任者異動**

- (上は新任括弧内は舊)
- 昭和十二年二月二十二日
    - 那珂郡瓜連町 平松 喜一 (龍崎由之介)
    - 全 三月十七日 行方郡延方村 根本孝之介 (小林 峰亮)
    - 全 三月十二日 那珂郡佐野村 照沼常次郎 (根本 富男)
    - 全 二月二十五日 久慈郡生瀨村 鴨志田次男 (鴨志田一徳)
  - 全 二月二十六日 久慈郡山田村 和田 達雄 (和田 靜)
  - 全 四月十日 久慈郡黒澤村 益子 惠 (益子民之允)
  - 全 四月八日 筑波郡小田村 平澤 政馨 (上山 正巳)
  - 全 四月十六日 那珂郡額田村 船橋丑之介 (小田倉 靖)
  - 全 四月七日 東茨城郡鯉淵村 大島淺吉(坂田太郎右衛門)

呉れればそれに対する補助を支給する事も出来るのですが支部によつては余り事業費どころか經費すらも持つて居ないものがある様な現状では補助も出来ない様な譯です。  
**來栖吉一** 支部の會合などを協會で充分督勵して貰ひ度いものです。現在支部に對する補助はどういふ風になつて居

ますか。  
**川崎課長** 今年始めて計上したものであつて額も少額であるが支部總會とか或は表彰の副賞の費用に使用して貰ふ豫定です。さて時間も大分たちましたので座談會は此の程度で閉ぢたいと思ひます。色々有益な御話を承り有難う御座いました。



### 各地統計雜信

調査員諸君  
何なりと奮  
つて御通信  
を願ひます

#### 東茨城郡支部總會

縣統計協會東茨城郡支部總會は四月十七日午前十時半から東茨城郡農會事務所樓上に開催、縣統計課から川崎課長、小泉屬臨席先づ紀元節に表彰された統計功勞者の表彰傳達式を舉行、小泉屬の開會の辭に次ぎ川崎課長から

上大野村助役 横須賀孝太氏、石崎村農林商工統計調査員 櫻井俊男氏、小川町農林商工統計調査員 藤田東四郎氏に表彰狀並に記念品を授與し式辭朗讀後支部長粉川幸之介氏(山根村長)祝辭を述べ横須賀孝太氏の答辭朗讀を以つて表彰式を閉ぢ引續き研究會に移り川崎課長から縣提出事項の趣旨につき詳細な解説を試み小泉屬

き説明質疑應答、次いで郡支部より提出の左記事項に對し川崎課長より夫々答辭を與へ閉會した

- 一、統計に關する簿冊整備の件
- 二、調査員の統計講習會開催の件
- 三、統計事務檢閲日割變更に關する件
- 四、部會研究會に縣官出席方要望の件
- 五、縣補助金交付に關する件

#### 久慈郡支部總會

久慈郡支部總會は四月十三、十四兩日自治會館に開催、縣統計課より川崎統計課長及高島屬臨席、午前十時開會、紀元節の佳辰に表彰された高倉村書記吉成藤三郎、河内村調査員根本武、宮川村調査員近津壽、諸富野村調査員金子昇諸氏に對する傳達式を舉行し武藤町村長會長の祝辭あり終つて直に統計事務研究會に移り縣提出會議事項につき高島屬より詳細説明あり出席者交々立つて或は意見を述べ或は疑問を質し熱心に研究する處あつた

#### 多賀郡支部總會

から指示事項の説明あり就中統計調査材料の整備、統計協會に關する件に就ては川崎課長から補足的説明あり正午散會午餐を共にして解散した。出席者左の如くである(括弧内は町村名)

- 横須賀孝太(上大野)平戸清二(下大野)上田助役(稻荷)渡邊榮(大場)坂場儀三郎(酒門)長須書記(石塚)皆川藤左衛門(吉田)中村留吉(綠岡)藤地伴介(上中妻)寺山(長岡村)田家熊吉(上野合)眞家春吉(白河)林政雄(橋)高野林藏、藤田調査員(小川)大貫專之助、加納萬吉(堅倉)大島吉(鯉淵)大岡徹廣(中妻)安島彌八郎(飯富)蘭部力雄(山根)飯村定雄(石塚)岡部書記(小松)岡谷書記、西郷平賀誠(岩船)小林克(澤山)檜山不二雄(伊勢刈)河

統計協會多賀郡支部では四月十四日磯原町役場で支部總會を開催した、各町村主任參集、縣よりは川崎統計課長及成瀬屬臨席紀元節に總裁より表彰せられた日立町書記大内健司、磯原町統計調査員野口友次郎兩氏に對する表彰狀の傳達式を舉行し、川崎統計課長より表彰狀を、瀧支部副長より賞品を夫々傳達して川崎統計課長の式辭、弓野同郡南部統計事務研究會長の祝辭、表彰者總代大内書記の答辭ありて閉式、それより支部總會に移り規約變更、副支部長の補闕推薦、昭和十二年度經費豫算を議決し尙縣提出事項は成瀬屬説明に當り質疑に答へ午後一時閉會した。

#### 鹿島郡支部總會

鹿島郡支部では四月一日輕野村役場に於て總會を開き酒井支部長の開會の辭に次いで統計協會總裁より表彰せられた上島村書記中根忠氏及輕野村統計調査員和田常夫氏に對する表彰狀傳達式を舉行し、川崎副會長より夫々傳達して式辭を述べ酒井支部長及輕野村長の祝辭及受賞者總代中根書記の答辭ありて傳達式を終へ引續き研究會に移

上秀雄(磯濱)佐藤岩次(大貫)

#### 西茨城郡支部總會

統計協會西茨城郡支部總會は四月八日笠間町役場樓上に開催、縣より川崎統計課長及菊池主事補臨席に紀元節に當り協會總裁より表彰せられた東那珂村統計調査員飯田幸作氏に對する表彰狀傳達式を舉行し川崎副會長之を傳達して式辭を述べ來賓の祝辭、授賞者の答辭ありて閉式し少憩の後縣提出の議案に付菊池主事補より説明あり質疑に答へ閉會した。

#### 那珂郡支部總會

那珂郡支部總會は四月十二日午前十時四十分湊町役場樓上に開催、出席者二十七名で、紀元節に表彰せられた戸多村書記堀江外男、芳野村農林商工統計調査員大和田龜吉、長倉村農林商工統計調査員鈴木知諸氏に對する表彰狀及び記念品の傳達式を舉行川崎副會長より傳達後式辭あり、大内支部長の祝辭、受賞者總代堀江書記の答辭ありて閉式、直に研究會に移り縣提出事項に就

り部統計主事補より縣提出事項に就て説明をなし質疑に答へ午後一時盛會裡に終了した

#### 行方郡支部總會

行方郡支部では四月二日午前十一時麻生町役場樓上に總會を開催、併せて紀元節に表彰された太田村書記萩原兵衛及手賀村統計調査員高塚茂十兩氏に對する表彰狀の傳達式を行ひ、川崎統計課長之れを傳達して式辭を朗讀、來賓として小貫支部長及箕輪麻生町長の祝辭、被表彰者總代の答辭あり、次で郡支部の表彰式に移り麻生町統計調査員永作久兵衛外二十名の諸氏に對する表彰狀並賞品を小貫支部長より授與し川崎統計課長の祝辭あり、續いて小倉屬より縣提出事項の説明あり各事項の質疑應答を重ね散會した。尙郡支部よりの被表彰者氏名は左の通りである。

- 麻生町統計調査員永作久兵衛、澄香村全千野根丑太郎、八代村全茂木市郎、潮來町全成井三好、津知村全岩本登、延方村全谷田久雄、大生原村全村山文作、太田村全平山正己、大和村全内田平八、津澄村

全大堀進、要村全齋藤彌作、武田村全高柳庄次郎、現原村全宇ツ木芳尾、立花村全荒井寅次郎、玉造町全小野口勇一郎、手賀村全高塚茂十、玉川村飯島幸藏、行方村全高野常吉、行方村全川尻熊司、小高村全大野仁

### 稲敷郡支部總會

稲敷郡支部では四月六日蠶業取締所江戸崎支所で支部總會を開催、縣よりは川崎統計課長及齋藤主事補臨席、紀元節に總裁より表彰せられたる龍ヶ崎町書記海老原美與太郎、駒栗村書記松尾貞三郎、朝日村統計調査員吉田孝之助諸氏に對する表彰狀並記念品の傳達式を舉行し川崎統計課長より表彰狀を、鴻巣支部長より記念品を夫々傳達し川崎統計課長の式辭、鴻巣支部長及川村岡田村長の祝辭、表彰者總代松尾書記の答辭ありて式を閉ぢ、引續き研究会に移り縣提出事項を齋藤主事補より説明して質疑に答へ閉會した。出席者は各町村長、助役並統計主任者四十餘名に達した。

### 稲敷郡第二部會總會

稲敷郡第二部會の總會は三月十日江戸崎町役場に開催、縣統計課より同郡擔任の齋藤主事補出席、午前十時五十分部會長福田江戸崎町長司會のもとに部會の昭和十二年度歳入歳出豫算の他の案件を異議なく可決の後、研究会に移り齋藤主事補より統計の重要性に鑑み細則に基く調査實施に就て要望あり、其の他統計調査員の指導訓練、統計書類の整理、報告書作成上の注意等詳細に亘り説明の上質疑應答を重ね午後二時閉會したが部會提出事項の中で特に注目されたのは部會統計事務刷新改善並部會員結束強化に關する件で細則に基く調査の實施を主眼目として互に探長補短同一歩調を以て邁進すべきことを誓約した事で、當日の出席者は部會長福田江戸崎町長並各町村長、助役、統計主任者で十六名であつた。

### 筑波郡支部總會

筑波郡支部統計事務研究会總會は四月十五日谷田部町筑波自治會館樓上に開催、紀

元節に協會總裁より表彰せられた筑波町書記酒寄泰、小田村農林商工統計調査員澤邊八郎、眞瀨村農林商工統計調査員瀧本白太郎諸氏に對する表彰狀傳達式を舉行し川崎副會長之を傳達して式辭を述べ久賀村長の祝辭、表彰者總代の答辭ありて閉式し、縣提出事項に付川崎課長並池田副局長より説明があつた。

### 結城郡支部總會

統計協會結城郡支部總會は四月九日宗道村自治會館に開催、義に紀元節に當り協會總裁より表彰せられた豊岡村書記中島良平、結城町農林商工統計調査員鈴木正三郎全宗道村齋藤源三郎に對する表彰狀並記念品の傳達式を舉行し、川崎副會長之を傳達して式辭を述べ來賓の祝辭、受賞者の答辭ありて閉式し、縣提出議案に付阿久津副局長より詳細なる説明あり質疑に答へ正午閉會した

### 猿島郡支部總會

猿島郡支部では四月十日郡農會樓上に各町村主任者が出席して支部總會を開催、縣

より川崎統計課長及菊池主事補出席、遠藤支部長の開會の辭に次ぎ義に本縣統計協會總裁より表彰せられたる幸島村書記赤岩啓四郎、櫻井村統計調査員梅田光四郎、中川村統計調査員瀧本治平諸氏に對し川崎統計課長より表彰狀を傳達し遠藤支部長より賞品の授與ありて川崎統計課長の式辭、遠藤支部長の祝辭、表彰者總代の答辭あり少憩の後總會に移り菊池主事補より縣提出の會議事項に就て説明をなし閉會した。

### 久慈郡學事統計事務所 研究會

久慈郡學事統計事務所研究會は去る四月八日久慈郡自治會館に於て開催され縣より高島出席した、午前十時小祝町村長會幹事の開會の挨拶あり續いて高島より學事年報製表に關する説明を各表毎に詳細説明ありたる後質疑應答をなし午後一時終了せり出席者七十七人の多きに達した。

### 多賀郡南部學事統計事務所 研究會

多賀郡南部學事統計事務所研究會は四月八

日河原子町役場に於て開催、縣より成瀬瀨出席して説明に當つた、學校職員の異動もあり此の調査に始めて從事する者もあるのて一同熱心に研究する所あつた、出席者は豊田會長(日高村長)町村主任學校職員等三十名であつた

### 稲敷の統計調査員會

稲敷郡阿見、舟島、君原、木原、安中の五ヶ村聯合統計調査員指導訓練會は四月十日阿見村役場に開催、縣統計課より同郡擔任の齋藤主事補が出席した、午前十時五十分、開催地たる中島阿見村長の開辭があつてから齋藤主事補より統計の重要性に鑑み各種調査の正確を期する爲め細則に基く調査方法の實施に就て激勵の辭あり續いて細則及縣提出の會議事項に付詳細説明の上質疑應答を重ね更に同役場裏に到り耕地に臨み實際の調査方法を研究し午後三時閉會した。當日の出席者は中島阿見村長、柳生舟島村助役及各村統計主任、調査員等五十八名である。

### 新治郡出島六ヶ村 統計調査員會

新治郡出島六ヶ村統計事務所研究會では志士庫村小學校に於て六ヶ村の統計調査員聯合訓練會を開催、縣よりは成瀬瀨出席して午前十時半開會、各種調査方法に付講習的に説明あり午後二時二十分閉會した、出席者七十名に達し頗る盛會であつた。

### 筑波郡北部統計事務所 研究會

四月五日同郡小田村役場に於て定例研究會を開催した。午前九時三十分開會、會長欠員につき飯岡副會長より開會の辭あり、續いて春季調査につき會員が各自体験に立脚して交々意見を述べて、同調査の完成を期しより以上の成績を擧ぐべく會員一同誓ふ。次に後任會長として滿場一致北條町長神立越氏を推薦し、副會長並に飯竹北條町統計主任その交渉にあたることに決定して午後二時閉會。當日の出席者は左の如し(吉沼村)杉山書記 (大穂村)柳町書記



ぬ。是より里余バスを驅つて目的地富里村を訪ふ。道々畑廣きところ麦生豊かに茂り、人家点々として其間を縫ふ一見平和敦朴の郷たるを偲ばしむるに足る、程なく役場に着く、刺を通ずれば豫て待ち倦ぐみしものゝ如くいと懇懇に一室に招ぜらる。茲には歴代村長及村治功勞者の寫眞を掲げ正面には忠君愛國の扁額を捧じて常に和心協同其徳を慕ひ以て村治の圓滑を圖るなりと云ふ。

村長殿合憎他出不在の由、統計主任(尊名失念)殿より具さに状況を拜聴す山積されし統計書類備ふる所戸口調査原簿、農業者調査原簿、田畑作付反別原簿、耕地字別土地臺帳、未作農家一覽及統計調査基準簿、如年上現在調査簿、公私有林野面積調査臺帳甲乙二冊、養蠶調査原簿、家禽家畜調査原簿調査用見取圖等十指を屈する簿冊流石は統計模範村たるの名を恥しめざる資料の豊富さ。此村は戸数千五百五十余

ものゝ好参考たるべきもの數多く此觀にして此子あり今回の大臣賞も宜なるかなと感嘆措く不能りしも如何せんタテムの進むに可惜滿腔の謝意を捧げて辭去す。

再び成田へ戻る、雨の歇みしを幸と不動尊に詣す、雨にも怯げず善男善女の群夥しくさしにも廣き境内も正に人の渦、今を盛りと咲き誇る櫻を愛で、遊歩するもの引きもきらず流石開基正に一千年を闊すといふ關東屈指の大靈場たるを偲ばしむるに足る、是より一路木更津に至りて泊す。

明くれば、五日夜來の雨も何處へやら、春光はいとも麗らかに吾等の行を旺にするかに見ゆ、町内名所を一巡して車上の人となり千葉市に向ふ。此邊り氣候極めて温和にして積雪の如き珍らしき現象なりといふを聞くに至りて吾等一昨年の冷害を想起し轉た寂寥の感なき不能ざるなり。檜葉過ぐれば車窓に映ゆる東京灣は渺茫として、遠く

戸、人口八千八百五十有余人、村豫算五萬七千七百餘圓縣下有數の大村にして雑地合せて一調査區平均百八十餘町歩とは聞くだに愕くのみ、二十一名の調査員を督勵して常に調査に萬遺漏なきを期し居るといふ。本春此村に於て農林大臣より選奨の光榮に浴せるといふ調査員平川清氏の調査記録を翻くに及んでは其周到さ綿密さ全く渾身の努力の跡歴然たるものあり。殊に氏の尊父吉松翁の曾て調査員たりし頃の事蹟には全く敬服の外なく氏は明治元年生れといふから今年古稀の齡を重ねしに、元氣頗る旺盛克く壯者を凌ぎ、本日吾等の爲めに折からの泥濘をも物ともせず一里余の道を役場に馳せ來るなど全く感極まれりと云ふべく、特に氏が最も苦心したりといふ氏獨特の字眼見取圖の精巧さ、當年區内水陸稻品種分布狀況及品種別豊凶統計表等をも作製して、農家經營の指針としたるなど全く驚異に値すべく、其他吾々斯道に携る

霞の中に二つ三つ白帆の浮べるあり、眼を轉ずれば此の面彼の面に咲き誇る桃の紅る麥浪の中に点綴してその姿いとも美しく所々絮を拾ふ乙女子の姿も亦長閑けき春の姿なるべし。此地梨園桃園いと多くして果樹園藝の盛なるを思はしむるに足る。何時しか千葉市に着く、花に包まれ春陽燦々と降り注ぐ縣廳を訪ふ今關統計課長殿より縣下統計に關する概況として縷々二時間に渉る講話を拜聴す、縣下三千四百有余人の調査員をして一糸亂れぬ統制下に指導するあたり正に巍然として全國に冠

たる統計千葉の存するを首肯するに足るものあり。乞はるゝまゝに記念撮影を爲し廳屋上に昇る、俯瞰する所千葉全市を一眸に集むるを得春陽麗らかに爛漫たる櫻花と春風のそれに和して宛ら天國に遊ぶの感あり、憩ひもしばし、眺めを惜しみつゝ厚意を謝して此の門を出ず、是より阿蘇村も共に視察せとする豫定なりしも、時間與其他種

四月十五日 新治郡十利出村 (服部覺之亮)  
四月十二日 (萩原近之助) 稻敷郡木原村 (本藤 良助)  
沼崎善一郎 (沼崎松之助)  
坪井島五郎 (根本 孝一)  
四月九日 稻敷郡長戸村 (大野芳太郎)  
北澤 彌 八  
四月八日 中山 有 (増 設)  
野澤 重 平 (全)  
小林 昇 中 (全)  
眞 仲 彰 (全)  
四月五日 北相馬郡大井澤村 (須賀 正雄)  
浅川 重 太郎 (野口利右衛門)  
四月五日 猿島郡逆井山村 (多賀郡坂上村)  
石山 德 太郎 (黒澤 重秀)  
四月二十日 那珂郡小瀬村 (赤上 新市)  
四月十五日 那珂郡信司 那珂郡靜村

全 四月十五日 神永政之介 (大内捨次郎)  
中村 勇 (山崎角之允)  
四月二十五日 那珂郡野口村 (長山 茂樹)  
諸 澤 清 嗣 (田邊 周七)  
全 田邊平三郎 (結城郡中結城村)  
全 四月十八日 結城郡絹川村 (佐藤 豊吉)  
全 杉 田 祐 作 (塚原 敏正)  
全 塚 原 勝 江 (大木 榮吉)  
全 藤 井 清 五 郎 (野村 正夫)  
全 山 中 理 (石島 弘)  
全 齋 藤 茂 (結城郡安齋村)  
全 四月十二日 小野寺 長三郎 (飯田利之助)  
全 中 島 柳 三 郎 (堤 二郎岩)  
全 英 木 彌 太 郎 (小川志之助)

中部日本府縣 統計課長會議

名古屋市中に開催され 川崎課長が出席 中部日本府縣統計協會長並統計課長



々の都合に今後を約して歸途に就く、前後二日吾等一行の縣外視察の茲に徒爾ならざりしを喜び採長補短吾等の統計事務に刷新を加へ精進是つとめ以て



## 統計優良村視察記

磯原町統計調査員 鈴木俊雄

三月十八日

此の日天麗かに晴れ渡り絶好の日和なり、吾等同勢八名が統計調査優良村視察の爲め本町長瀬統計主任引卒の下に二臺の自動車に分乗し目的地たる久慈郡賀美村及び本縣縣廳への見學の旅につきたるは正に午前七時なり、爆音勇ましく南を指して走る、楯形村より右折し黒前村を横斷し羊腸たる山路を西へくと進む、曲折多けれど坦々として砥の如き道路なり、近時農村土木

國家非常時克服の一助たらしむべく最善の努力を各まざる事を契ひて筆を擱くものなり。(四月十七日記)

匡救事業の顯れかと頷る。

午前九時賀美村に着す、南北に流るゝ里川の清流に沿ふて人家あり、西東は山に囲まれて恰も桃源郷もかくやと思はれ純朴なる農村との印象を深くす直ちに役場を訪ひ助川統計主任の『ようこそ御出で……』の溢るゝばかりの愛嬌に、聞けば長瀬書記とは舊知の間柄とか、直ちに樓上に導かれ机上に山積された統計上の諸種の書類を見て又助川書記の諄々と説く統計上の有意義

協議會は四月二十一日愛知縣名古屋市愛知縣商工會館に於て開催、参加府縣は三府二十縣に達し本縣より川崎統計課長が出席した、提出された協議事項は左の通りである

### ▲統計機關に關する事項

- 一、中央省局に於ける統計機關の擴充及統制と統計的諸懸案即行方要望に關する件
- 二、統計機關の統一整備實現に關する件
- 三、統計機關の整備充實に關する件
- 四、町村統計專任吏員に對する國庫補助實現に關する件
- 五、皇紀二千六百年記念統計改善施設として市町村統計行政機構の擴充強化に關する件
- 六、統計調査員は國に於て任命せらるゝ様要望するの件
- 七、統計調査員の待遇改善に關するの件

### ▲經費に關する事項

- 八、農林商工統計調査費の全額を國庫負擔と爲すの件
- 九、米生産統計改善補助金増額の件
- 一〇、地方統計協會事業施設に對し國庫補助金交付方建議の件
- 一一、地方統計團體に獎勵金交付方要望の件
- 一二、地方統計協會に對する國庫補助に關する件
- ▲各種統計調査に關する事項
- 一三、中小商工業センサス實施建議に關する件
- 一四、商工業センサスの施行に關する件
- 一五、小工業調査實施方に關する件
- 一六、商工業調査實施に關する件
- 一七、昭和十五年國勢調査に關する件
- 一八、米作地一齊調査に關する件
- 一九、農業實地調査の實施促進に關する件
- 二〇、産業統計改善整備に關する件

なる體驗談には其の陰に潜む各調査員の努力の跡が偲ばれて一行感を深うし殊に獨特考案になる調査書類及正確なる計數表等極めて好參考資料多く、誠に一驚を喫したり。

宣なる哉、今や全國に高鳴る統計熱の眞只中に而も統計模範村としての内容實蹟を具さに見聞し吾等得る所頗る甚大なりき、見學の厚意を感謝しつつ、尙も茶菓の饗應に接し種々懇談の中に助川書記の曰く折角之までの御足勞なれば之より矢祭山袋田の名瀑を探勝しては如何との事に、さもあらんと忽ち議一決し懇ろに厚意を謝して辭去す、時に午前十一時なり。

直ちに、車中の人となり、それより北進又躍進スピードを出して遠く福島縣に入る、東館を過ぎ暫くにして溪谷の山中漸く迫り奇岩怪石又多し矢祭山に達す、

巍然として雲際にそびゆる奇峯は恰も襖畫の如く石峯岩巒重疊として屹

立し天然の勝景造物の妙化を生みて一代の文豪大町桂月先生をして『關東の耶馬溪』と推賞せしめたる誠に良く穿ち得たるもの哉と感嘆久ふせり。

此の地往時、源義家朝臣、奥州征討の途すがら此の山上に軍矢を祭り依つて此の名ありと云ふ、石碑あり、又山上に矢祭神社あり、古歌に曰く  
心ある人に見せばや陸奥の  
矢祭山の秋の夕暮

誠に絶讚に價する所なり、吾等時間だからば尙久しく望見し眞の夕暮の景を賞せんと思へども先をば急ぐ行程名残り惜しくも矢祭を後にして愈々憧憬の地袋田へと走る。

自動車を下りて先づ耳に入るは遙かにきこゆる、瀑音と目に映ゆるは兩岸の峯巒、一行の心は躍りつゝ土産物賣店のサーピス嬢の聲も耳に入らず寸時も早く瀧へと心は急ぐ、

羊腸たる徑を辛うじて幽邃なる瀧見不堂の前に至る、高さ五十丈幅四十間

四段に落つる水の瀨は岩壁に碎けて白玉を轉すが如く白錦を打振るが如し凄味無く喰味なく自然の和やかな名瀑として天下第一品の名稱も敢て過賞にあらざると思はる、吾等一行しばし其の景觀に打たれ嗚呼／＼の嘆聲を洩すのみ禿筆の能く盡す所にあらず、此の一大仙境に暫し俗念を忘れ、忘我の詩を誦する心地して羽化登仙の思ひにて、そらろに水戸藩主武公の歌が偲ばれる、

白糸を紅葉のひまに、ひきはいて

錦織りなす袋田の瀧

身は仙境にあり退去を欲せざるも時間の都合上、後髪引かるゝ心地して下山す、それより袋田温泉ホテルへと車を運ぶ新築の設備すが／＼しく直ちに入湯す、湧出量が多大なると適度の温湯に浸つて身体のび／＼と誠に快感を覺ゆ、浴後若干の淺酌にて忽ち本日の車中の疲勞も解消し、麗恨の給仕にて晝飯を喫し久しく陶然たり、余暇だにあらば、二三日の逗留も亦良ろしからん

など、談笑し再來を期して辭去す、更に車中の人となり、男体山、月居山はては安寺持方等を遙かに望見しつゝ久慈川の溪流に沿ふて走る、兩岸の奇峯岩槽誠に筆舌に盡し難く正に一幅の良畫なり、殊に此の山險を征服して敷設せし水郡線を見て科學の力の偉大なるを一入痛感せり

上小川西金等に路は下坂なれば自動車エンヂンもいと軽く超スピードを以て進み那珂郡に入る、山方宿を過ぎ大宮町に入る、眼界漸く開け、一望の耕地は小麦の作付多く伸長も又佳良なり、昨夏の小麥暴騰にて、かくも一面に作付せし事ならんげにや那珂郡は本縣一、否全國に冠たる大小麥の生産地なると種々車中にて語る中、早くも那珂川を渡りて水戸に入り、縣廳構内に停車す、直ちに統計課を訪問し種々課員の説明にて新機械等、見學しそれより川崎統計課長より懇篤なる訓話を賜り玄關前にて記念撮影をなし廳内を遍

- 二一、織物統計の整備に關する件
- ▲統計思想普及に關する件
- 二二、統計の社會化施設に關する件
- 二三、統計に關する國民の精神動員として統計記念日設定に關する件
- 二四、統計記念日設定方に關する件
- 二五、統計記念日講演資料に關する件
- ▲その他一般に關する事項
- 二六、中央閣省に於ける統計主任官會議並地方統計課長會議開催に付連絡協調方建議の件
- 二七、皇紀二千六百年記念事業に關する件
- 二八、府縣統計課(調査課)に於ける所管事務に關する件
- 二九、産業統計調査費の指導訓練の實狀に付承りたし
- 三〇、調査員の徽章制定に關する件

### 統計課員異動

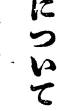
多年統計事務に従事せられ、郡役所廢止と共に統計課の獨立以來、主席屬として本縣統計界の爲に盡瘁された小林綠氏は去る三月末日退職せられた爲左の通り統計課員の異動が發令された同氏は本統計協會の創立にも多大の功績ありしのみならず、創立と共に本會幹事として會務の發展上にも貢獻尠からざりしもので其の勇退を惜しまれてゐる。

- |                      |   |                   |        |
|----------------------|---|-------------------|--------|
| 依願免本官                | 屬 | 小林                | 綠      |
| 統計主事補                |   | 小倉                | 英二     |
| 任茨城縣屬                |   | 松井                | 桐紫     |
| 縣書記                  |   | 松井                | 桐紫     |
| 茨城縣統計主事補=任ス(以上三月卅一日) |   | 向左に伴ひ本會幹事及會務委員も左の | 通變更された |
| 會務委員                 |   | 渡邊                | 健吉氏    |
| 本會幹事ヲ囑託ス             |   | 松井                | 桐紫氏    |
| 本會會務委員ヲ囑託ス           |   | 小倉                | 綠氏     |
| 本會幹事ヲ解ク(以上四月一日)      |   |                   |        |

く巡視し、屋上展望所に上る、大水戸市を一陣の中に望みて殊に夕景一入の感あり日も西山に傾きたれば歸路に就く吾等は農人形に敬意を表して久し停む

あの一蓑一笠の質素なる農人形の姿は農業國茨城縣のシンボルかと思はれ水戸烈公の『朝な夕な』の歌も思はれて殊に床し、一行謝意を表し廳門を辭す、時正に午後五時過ぎなり、又々車中の人となりて歸路につけり、快速力を以て疾走又疾走一時間有餘にして磯原に着す、疲勞を慰する意味にてさゝやかな夕飯を喫し、一日の見學談に花が咲き懇談又快談數刻を過ぎるも盡きず時間を見れば正に九時を過ぎんとす、又の會合を約して各々家路に就く。

### 統計調査員の信念



眞壁郡五所村 谷貝英二

新緑あふるゝ五月、農家は田植を始

め耕作に如何程か忙しいことせう、朝は雞鳴に先んじ、夕は星をいただいて返る田畑の仕事は全く文字通り一寸の油断もなく邁進のことと思はれます、かかる多忙の中にありまして寝前の寸暇に晝間よく觀察されましたところの詳細なる統計の調査にあたられますことは洵に感謝に堪へない次第であります、尙一層我こそは正確なる此の調査を自負し得らるゝだけの信念を持ち、國家の一員として活躍せられん於ことを祈つて止みません。三月號にて總裁閣下より統計は難局打開の鍵と云はれた、本縣統計界は完成の域に向つて愈々進歩發展し、正しき數字の紙上に表はれて行くのを見ることは、我が縣民全体の喜びであり且又農村更生への大きな指針となる事を信じて疑はないのであります。

× × × × ×



短歌

丹 四郎 選

「春雜詠」「空」

結城郡豊加美村 沼尻 幸右衛門

鍬かげの裏田の池に鳴く蛙宵あたたかき雨降りにけり

畦のべに抜き捨てられし小松菜はひよろ／＼として花もちにけり

麥畑の草抜き居れば小さき蜘蛛走り出でしが麥にかくれぬ

新治郡藤澤村 吉沼 喜一郎

昨年に伐りし稻架の松の皮の春は乾きてむきがてぬかも

西茨城郡大原村 來栖 浩太郎

山遊びの子が折りて來し蕨の芽手の温みにて萎れ居にけり

行方郡大和村 内川 六統生

桑苗を植多終りたる夕空の深き曇りは雨となるらし

眞壁郡五所村 谷貝 英二

あたゝかき春の光を背にうけて芋苗を床にふせて居りけり

北相馬郡菅生村 倉持 保光

歐亞空路制潮の飛行了したる躍進日本の神風の名ぞ

庭くまの小米櫻の花白く眼には見えつつ暮れ深みゆく

久慈郡金砂村 菊池 喝谷

春の日のすでに落ちにし空にして暮れ残り居り金砂山は

水戸市袴塚町 大高 靜香

ひと雨へ傾に深みし春の日の窓への櫻おほかた散れり

北相馬郡東文間村 堀越 宵雪

窓越しに射しくる春日浴びにつゝ統計調査に餘念なかりし

稻敷郡生板村 大野 芳雄

我心雲雀なりせば大空に世を一目にもなきてみなまし

那珂郡玉川村 寺門 行

晴れわたる空よりもよし花くもり夜のおぼろのそぞろあるきは

北相馬郡菅生村 倉持 保光

浮くとなく沈むともなき金魚かな

西茨城郡大原村 來栖 浩太郎

日曜の校舎靜かに木の芽晴

北相馬郡高野村 倉持 公太郎

陽に乾く土の匂ひや木の芽ふく

久慈郡金砂村 菊池 政雄

噴水へ集まりあそぶ金魚かな

西茨城郡穴戸町 内桶 柳水

先生を圍む畫餉や木の芽晴

水戸市袴塚町 大高 靜香

店頭に金魚屋憩ふ人だかり

行方郡武田村 鳥次 ゆた香

金魚玉さんらんとして灯を弾く

新治郡瓦會村 増子 よし女

鯉と飼ふ尾なし金魚のぶる／＼と

次回課題

「初夏雜詠」「梅雨」



前田 猶春 選

題「金魚」「木の芽」

行方郡延方村 黒須 恵三郎

東ね桑解きぬる人や木の芽晴

稻敷郡君原村 小松澤 霞翠

薄月夜ふと觸れし木の芽立かな

筑波郡小田村 前川 泰明

雨あがるたそがれどきの金魚店

○ 同 人  
白ほりの摘んでくれたる木の芽かな

○ 同 人  
朴の芽のほぐるゝ風を思ひけり

○ 同 人  
行方郡大和村 内田 六統生

○ 同 人  
遼芽をふく樹々の映りけり

○ 同 人  
理髪店の鏡にうつる金魚かな

○ 同 人  
水させば靜かに動く金魚かな

次號課題

題「箱庭」「蟬」通じて五句

締切 七月一日限

宛名 縣統計協會文藝係

秀逸

○ (寛) 茨城縣土浦町大町 内田 櫻川子

○ 同 人  
たまさかに人來る寺や木の芽晴

○ 同 人  
傘にひく油匂ふや木の芽垣

○ 同 人  
人來れば咲ゆる犬居て木の芽寺



柳川

山中 緋郎 選

「電話」

眞壁郡五所村 谷貝 英二

電話口話しが出來た子の自慢

猿島郡幸島村 塚原 定吉

電話室何か嬉しい事を秘め

北相馬郡東文間村 宵 雪 迂 人

新設の電話さ細な事もかけ

行方郡武田村 鳥 次 とり 坊

電話口待たせた揚句留守と言ひ

東茨城郡石塚町 田 上 光 夫

叱られて舌出してゐる電話口

行方郡大和村 内 田 六 統 生

戀人が出てる電話へちとどもり

那珂郡柳河村 木 内 紅 楓

戀知つてからの娘の電話なり

筑波郡島名村 鯉 淵 白 蓼 花

ご返事は電話でと言ふあつけなさ

眞壁郡川西村 大 久 保 小 星

長話ししたい電話へ社長が來

鹿島郡豊城村 林 庭 洋

電話から誘惑をする甘さ聲

行方郡延方村 黒 頃 一 雅

笑ひ聲だけが洩れてる電話室

東茨城郡石崎村 櫻 井 星 光

支配人電話でばかり笑つて見

西茨城郡突戸町 内 楠 柳 水

辻電話待つ間吸殻踏みじり

水戸市袴塚町 大 高 靜 香

ひとつとした電話それから言は切れ

佳作

新治郡土浦町 内 田 櫻 川 子

宿直へ電話のベルの夢うつゝ

次號課題 「海」

締切 六月二十日 葉書五句以内

宛名 茨城縣統計協會編輯部

### 編輯後記

× 何時の間にか新緑初夏の候となつた。春季調査の忙しきから引續いて夏季調査である。自分の仕事を終へてほつとする間もなく之等の調査に活躍される統計調査員と町村統計関係者各位の減私奉公の精神と不撓の努力に敬意を表する

× 本號は各郡統計主任中から選ばれた人達によつて試みられた統計座談會の記事に依りて些か光彩を添へ得たと思ふ。將來も斯ういふ經驗に基く實益のある讀物を澤山集めたいと思つて居る。讀者諸君から質疑、感想、經驗記といったものを寄せられる事によつて紙上座談會が形成されるのである。

× この意味からいつて本號に統計相談欄が掲載されなかつたのは遺憾である。春季調査等で統計主任諸君も調査員各位も多忙を極めた爲ではあらうが忙しければ忙しいだ

け色々な事によつつかるであらう。そのうちには疑問や不審も相當あるだらうし相談欄も相當に賑ふ筈だつたと思ふがそれが誌上に表はれなかつたのは誠に残念である。將來は毎號欠かしたくないものである。

— 加藤敬愛 —

昭和十二年五月十三日印刷  
昭和十二年五月十五日發行

(隔月一回十五日發行)

一部金十錢

水戸市北三ノ丸茨城縣廳

茨城縣統計協會内

發行兼 編輯人 川崎 未吉

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

印刷人 柴 博

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

印刷所 柴 印刷所

水戸市北三ノ丸 茨城縣廳内

發行所 茨城縣統計協會

### 茨城統計と廣告の効果

『茨城統計』は縣下三百七十九ヶ市町村及び各市町村の統計調査員約四千名は勿論縣下各種團體、會社、工場等に配付し、中央各省、道府縣へも漏れなく配付するものにて廣告の効果偉大なるものがあると信じます。

◆本誌の廣告料金は左の通りです

特別(一頁(表紙表裏)) 金拾五圓

半頁(同) 金八圓

普通(一頁) 金四圓

半頁(同) 金貳圓

四分ノ一 金貳圓

▼同一廣告を引續き二回以上のときは

は一割五分、五回以上のときは二

割の割引をします。

▼廣告に寫眞挿入又は木版を要する

ものは其の費用を別に申受けます

▼廣告料は前納に願ひます。

茨城縣廳内

茨城縣統計協會